



Cisco Unified IP Phone 6921/6941/6945/6961 ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)

初版：2012年1月1日

最終更新：2012年6月4日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



目次

Cisco Unified IP Phone の機能	1
Cisco Unified IP Phone 6921	1
電話機の接続部	1
ボタンとハードウェア	3
電話スクリーン	6
Cisco Unified IP Phone 6941	6
電話機の接続部	6
ボタンとハードウェア	8
電話スクリーン	11
Cisco Unified IP Phone 6945	12
電話機の接続部	12
ボタンとハードウェア	14
電話スクリーン	17
Cisco Unified IP Phone 6961	18
電話機の接続部	18
ボタンとハードウェア	19
電話スクリーン	22
電話に関する全般情報	23
フットスタンド	23
ハンドセット受け台の調整	25
省電力モード	25
アプリケーション	27
サービス	27
アクセス サービス	27
通話履歴	28
通話履歴の表示	28
コール レコードの詳細の表示	29

通話履歴のフィルタ	29
通話履歴からのダイヤル	29
電話番号の編集	30
通話履歴のクリア	30
コールレコードの削除	31
設定	31
呼出音	31
呼出音の変更	32
コントラスト	32
コントラストの調整	32
ヘッドセットの側音	32
ヘッドセットの側音の調整	33
電話の情報	33
電話の情報の表示	34
管理者設定	34
連絡先	35
社内ディレクトリ	35
連絡先の検索と連絡先へのダイヤル	35
コール中の連絡先の検索と連絡先へのダイヤル	36
パーソナルディレクトリ	37
パーソナルディレクトリ オプション	37
パーソナルディレクトリのログインとログアウト	37
パーソナルディレクトリへのエントリの追加	38
パーソナルディレクトリのエントリの検索	38
パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル	39
パーソナルディレクトリのエントリの削除	39
パーソナルディレクトリのエントリの編集	40
ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ	40
ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て	40
ファストダイヤルコードを使用したコールの発信	41
ファストダイヤルコードの削除	41

メッセージ	43
ボイスメールの個人設定	43
ボイスメッセージインジケータ	43
ボイスメッセージへのアクセス	44
コール機能	45
機能ボタンとソフトキー	46
Survivable Remote Site Telephony の概要	48
エージェント グリーティング	51
応答	51
自動応答	52
ヘッドセットで自動応答	52
スピーカフォンで自動応答	52
折返し	52
折返し通知の設定	52
コールの転送	53
コールの転送	54
コール パーク	54
コールのパーク	55
手動ダイレクト コール パークを使用したコールのパーク	55
処理されたダイレクト コール パークを使用したコールのパーク	56
コール ピックアップ	56
ピックアップを使用したコールの応答	57
グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用したコールの応答	57
グループ ピックアップと電話番号を使用したコールの応答	58
他グループ ピックアップを使用したコールの応答	58
コール待機	58
コール待機通知への応答	59
C 割込	59
共有回線の会議への参加	59
コード	59
クライアント識別コードを使用したコールの発信	60
強制承認コードを使用したコールの発信	60

会議	60
会議への第三者の追加	61
複数のコールを接続して会議を実行	61
会議実行前のコール間での切り替え	61
会議参加者の表示	62
会議参加者の削除	62
即転送	62
コールの転送	62
サイレント	62
サイレントのオン/オフ	63
エクステンション モビリティ	63
エクステンション モビリティの有効化	64
ファストダイヤル	64
ファストダイヤルを使用したコールの発信	64
保留	65
コールの保留	65
保留中のコールとアクティブ コールの切り替え	65
新しいコールへの応答	65
共有回線でのリモート回線の保留	66
ハントグループ	66
ハントグループのログインとログアウト	66
保留復帰	66
保留復帰通知への応答	67
インターコム	67
インターコム コールの発信	67
インターコム コールの受信	67
回線ステータス	68
回線ステータス インジケータ	68
迷惑呼 ID	68
不審なコールのトレース	69
ミーティング	69
ミーティングの開催	69

ミーティングへの参加	69
モバイル コネクト	70
モバイル コネクトの有効化	70
コールをデスクの電話機から携帯電話に切り替え	71
コールを携帯電話からデスクの電話機に切り替え	71
モニタリングと録音	71
MLPP (Multilevel Precedence and Preemption)	71
回線ごとの複数のコール	73
同じ回線上の 2 番目のコールへの応答	73
同じ回線上のコールの切り替え	74
異なる複数の回線上のコールの切り替え	74
複数のコールがある回線上でのコールの終了	74
最大発信コール数	74
同じ回線上の 2 つのコールを使用して会議を実行	74
同じ回線上の 2 つのコールの転送	75
複数の着信コール	75
共有回線	76
ミュート	76
電話機のミュート	76
オンフック ダイヤル	76
オンフックでの電話番号のダイヤル	77
プラス ダイヤル	77
国際電話番号のダイヤル	77
プライバシー	77
共有回線でのプライバシーの有効化	78
品質レポート ツール	78
電話の問題のレポート	78
リダイヤル	78
番号のリダイヤル	79
共有回線	79
スピード ダイヤル	80
スピード ダイヤル ボタンを使用したコールの発信	80

スピードダイヤルコードを使用した発信	80
転送	81
別の番号へのコールの転送	81
別の回線へのコールの転送	81
転送完了前のコールの切り替え	82
WebDialer	82
WebDialer と Cisco ディレクトリの使用	82
WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用	82
WebDialer の初期設定の変更	83
WebDialer のログアウト	84
ユーザオプション	85
ユーザオプション Web ページのログインとログアウト	85
デバイスの設定	86
ユーザオプション Web ページからのデバイスの選択	86
サイレントオプションのカスタマイズ	87
回線の設定	87
回線ごとのコール転送の設定	88
回線ごとのボイスメッセージインジケータ設定の変更	88
回線ごとのオーディオボイスメッセージインジケータ設定の変更	89
回線ごとの呼出音設定の変更	89
電話機のディスプレイの回線テキストラベルの編集	90
[ユーザオプション]でのスピードダイヤルの設定	90
スピードダイヤルボタンの設定	90
スピードダイヤルコードの設定	91
IP Phone サービス	91
サービスへの登録	92
サービスの検索	92
サービスの変更または解除	92
サービス名の変更	93
プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加	93
ユーザ設定	93
ブラウザのパスワードの変更	94

PIN の変更	94
ユーザ オプションの言語の変更	94
電話機のディスプレイの言語の変更	95
ディレクトリ	95
個人アドレス帳の設定	95
新しい個人アドレス帳エントリの追加	95
個人アドレス帳のエントリの検索	96
個人アドレス帳のエントリの編集	96
個人アドレス帳のエントリの削除	96
個人アドレス帳のボタンの割り当て	97
ファストダイヤルの設定	97
ファストダイヤルの機能ボタンの割り当て	97
個人アドレス帳のエントリへのファストダイヤルコードの割り当て	98
個人アドレス帳のエントリを使用しない電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て	98
ファストダイヤルエントリの検索	98
ファストダイヤル電話番号の編集	99
ファストダイヤル個人アドレス帳のエントリの削除	99
モビリティ設定	99
新規リモート接続先の追加	100
アクセスリストの作成	101
プラグイン	102
プラグインへのアクセス	102
よくある質問、トラブルシューティング	103
よくある質問	103
トラブルシューティングのヒント	104
Conference	104
会議ボタンとソフトキーが反応しない	104
ミーティング会議のビジー トーン	105
Personal directory	105
パーソナルディレクトリにログインできない	105
Shared lines	105
リモートで保留されているコールの発信者 ID が表示されない	105

- User options 106
 - ユーザ オプション Web ページにアクセスできない 106
- Cisco Unified IP Phone のクリーニング 106
- 製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報 107
 - 安全性とパフォーマンスの情報 107
 - 停電 107
 - 外部デバイス 107
 - シスコ製品のセキュリティ 108
 - アクセシビリティ機能 108
 - 追加情報 108
- 保証 111
 - シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 111



第 1 章

Cisco Unified IP Phone の機能

この章では、Cisco Unified IP Phone 6921/6941/6945/6961 の機能について説明します。

- [Cisco Unified IP Phone 6921, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6941, 6 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6945, 12 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6961, 18 ページ](#)
- [電話に関する全般情報, 23 ページ](#)

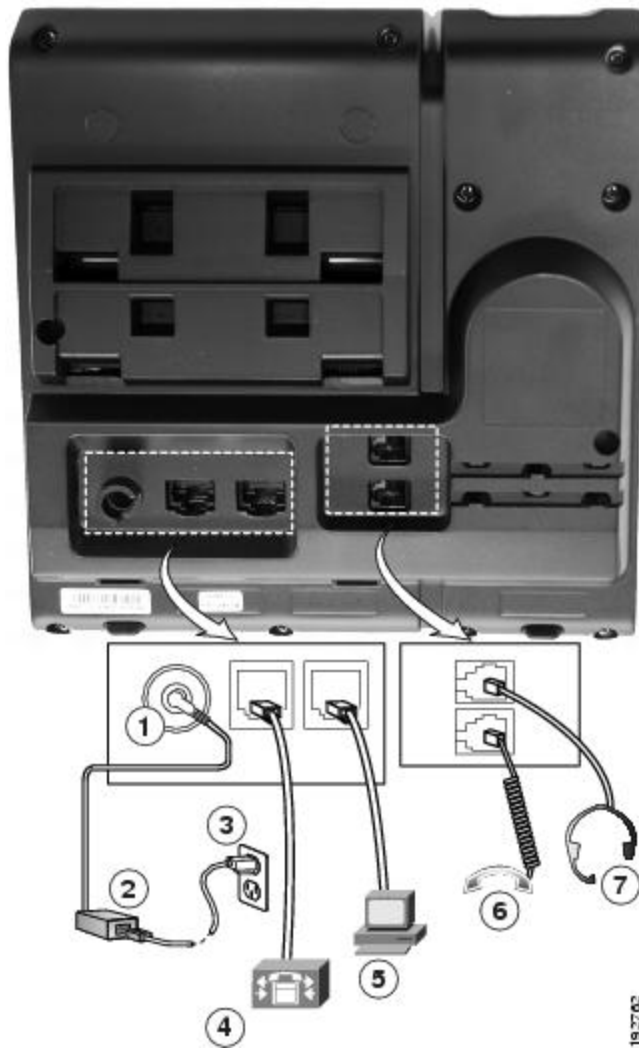
Cisco Unified IP Phone 6921

Cisco Unified IP Phone 6921 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

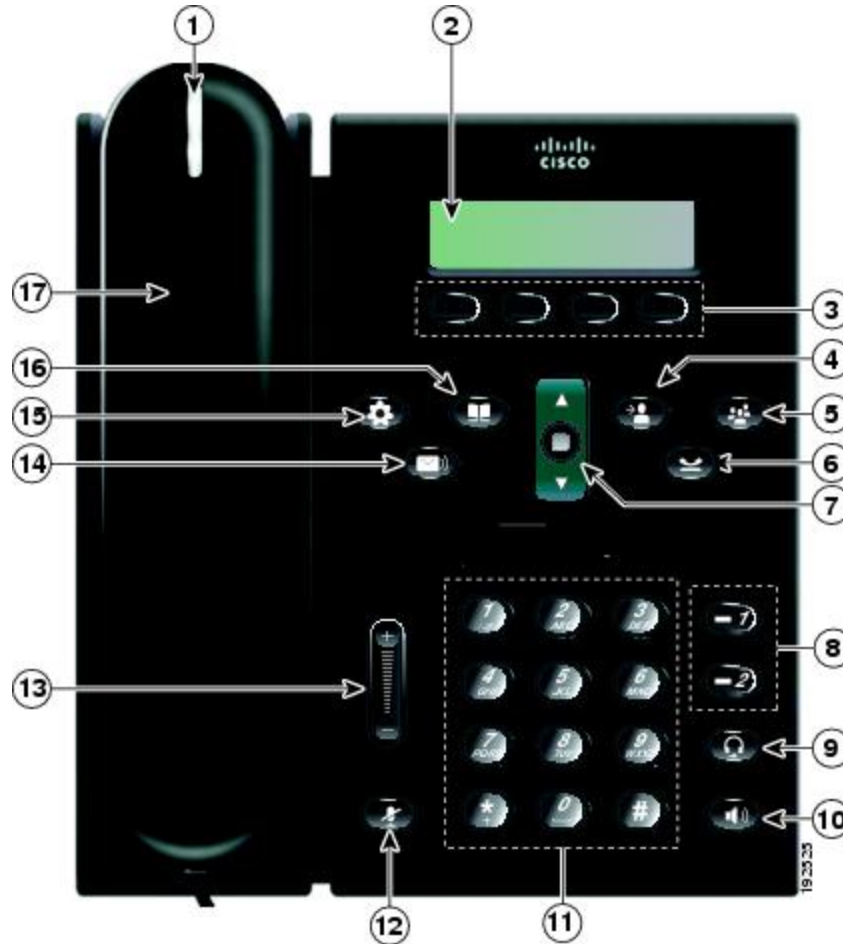
電話機の接続部


電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。




1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)		

ボタンとハードウェア

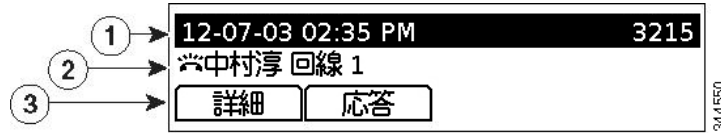


1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキー オプション、スピードダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。
3	ソフトキー ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。

4	転送ボタン 	コールを転送します。
5	会議ボタン 	会議コールを開始します。
6	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
7	ナビゲーションバーと 選択ボタン 	<p>ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴（上矢印）またはスピードダイヤル（下矢印）からの電話番号が表示されます。</p> <p>選択ボタン（ナビゲーションバーの中央）を押して、強調表示された項目を選択できます。</p>
8	回線 1 ボタンと回線 2 ボタン  	<p>回線 1 では、プライマリ電話回線を選択します。</p> <p>システム管理者による電話機の設定に応じて、回線 2 ボタンを押して次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • セカンダリ電話回線 • スピードダイヤル番号（スピードダイヤルボタン） • Web ベースのサービス（たとえば個人アドレス帳ボタン） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線使用中（共有回線） • 赤色に点滅：リモート回線保留中
9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。

10	スピーカフォンボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクroフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージ ボタン 	ボイスメールシステムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーションボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。アプリケーションボタンを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線の詳細とその他の電話機情報	コール中は、アクティブな回線の詳細が表示されます。コール中でない場合は、回線テキストラベルと、発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどの情報が表示されます。
3	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

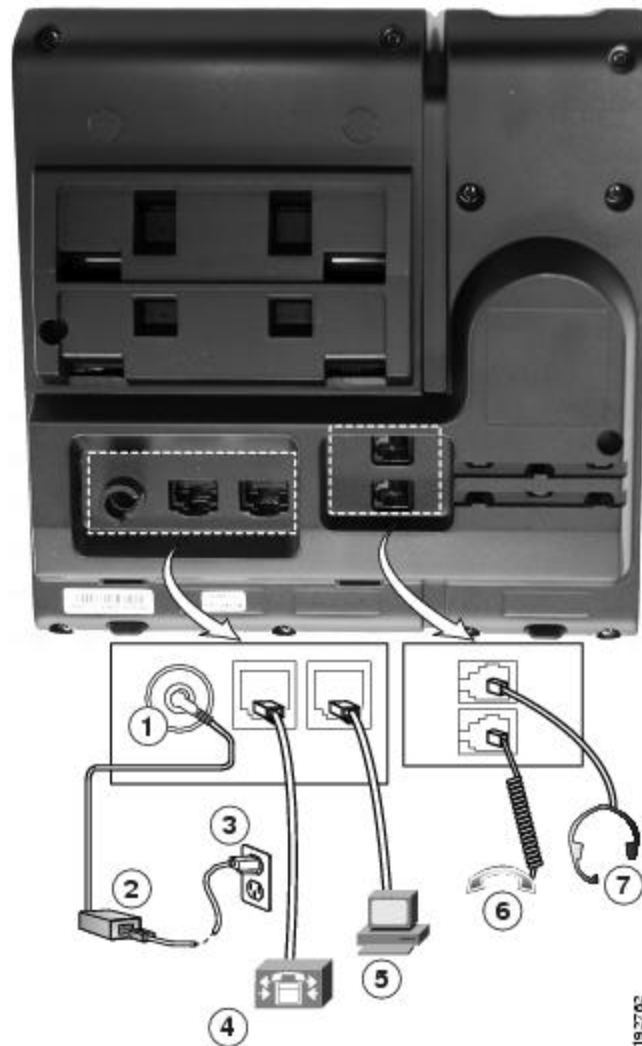
Cisco Unified IP Phone 6941

Cisco Unified IP Phone 6941 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部

電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。







1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) 接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	アナログ ヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)		



ボタンとハードウェア



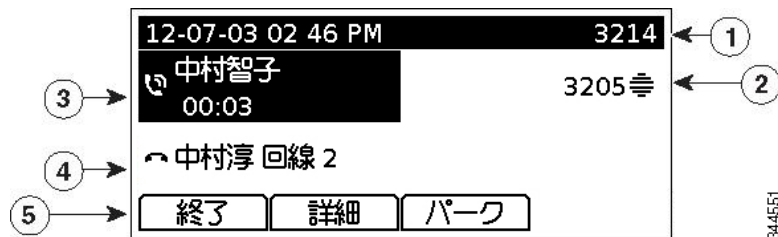
1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、スピードダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。

3	<p>プログラマブル機能ボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタン（電話スクリーンの両側）を押して次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線 • スピードダイヤル番号（スピードダイヤルボタン。回線ステータススピードダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（たとえば個人アドレス帳ボタン） • コール機能（たとえばプライバシーボタン） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコールまたは双方向のインターコムコール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点灯：プライバシー使用中、一方向のインターコムコール、サイレント有効、またはハントグループにログイン済み • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線使用中（共有回線または回線ステータス） • 赤色に点滅：リモート回線保留中
4	<p>ソフトキーボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキーオプションが電話スクリーンに表示されます。</p>
5	<p>転送ボタン</p> 	<p>コールを転送します。</p>
6	<p>会議ボタン</p> 	<p>会議コールを開始します。</p>

7	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
8	ナビゲーションバーと 選択ボタン 	ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴（上矢印）またはスピードダイヤル（下矢印）からの電話番号が表示されます。 選択ボタン（ナビゲーションバーの中央）を押して、強調表示された項目を選択できます。
9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
10	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージ システムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。

15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション] メニューを開閉します。アプリケーション ボタンを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線テキスト ラベルとアイコン	設定に応じて、電話またはインターコム回線、スピードダイヤル番号、サービスのテキスト ラベルとアイコンが表示されます。
3	プライマリ回線の詳細とその他の電話機情報	プライマリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
4	セカンダリ回線の詳細とその他の電話機情報	セカンダリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
5	ソフトキー ラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

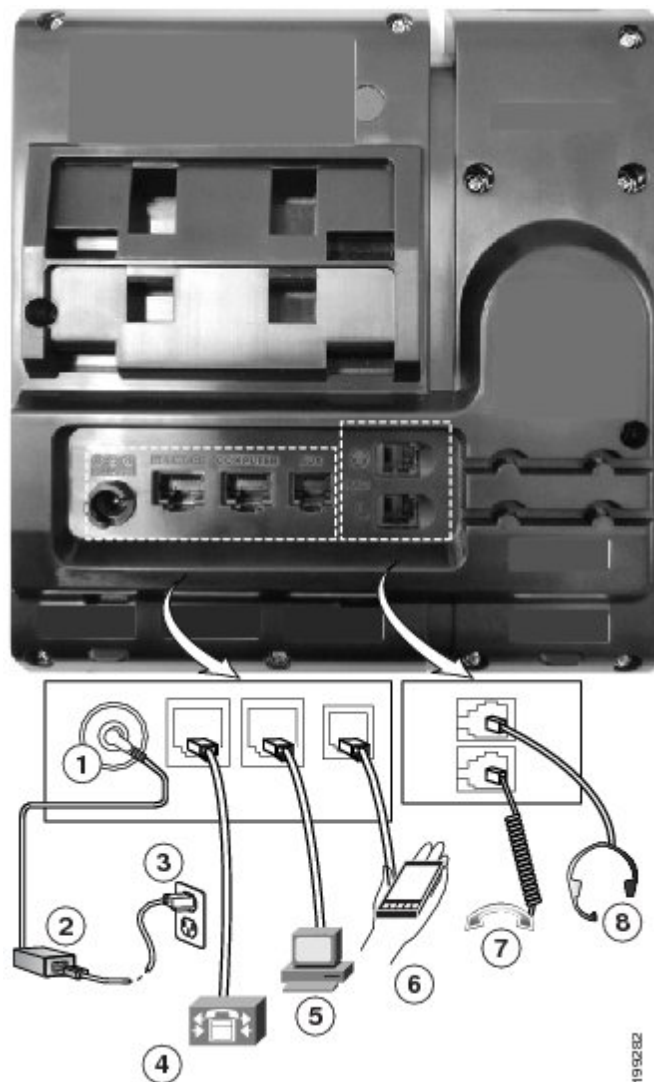
Cisco Unified IP Phone 6945

Cisco Unified IP Phone 6945 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部

電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。







1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100/1000 PC) の接続
2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	補助ポート
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ハンドセットの接続
4	ネットワーク ポート (10/100/1000 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)	8	アナログヘッドセットの接続 (オプション)



ボタンとハードウェア



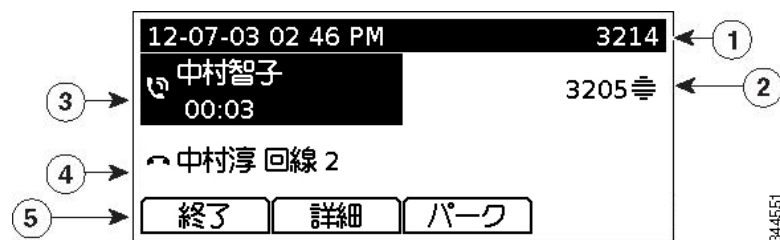
1	ハンドセットのライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。
2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキーオプション、スピードダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。

3	<p>プログラマブル機能ボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタン（電話スクリーンの両側）を押して次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線 • スピードダイヤル番号（スピードダイヤルボタン。回線ステータススピードダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（たとえば個人アドレス帳ボタン） • コール機能（たとえばプライバシーボタン） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコールまたは双方向のインターコムコール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点灯：プライバシー使用中、一方向のインターコムコール、サイレント有効、またはハントグループにログイン済み • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線使用中（共有回線または回線ステータス） • 赤色に点滅：リモート回線保留中
4	<p>ソフトキーボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキーオプションが電話スクリーンに表示されます。</p>
5	<p>転送ボタン</p> 	<p>コールを転送します。</p>
6	<p>会議ボタン</p> 	<p>会議コールを開始します。</p>

7	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
8	ナビゲーションバーと 選択ボタン 	ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴（上矢印）またはスピードダイヤル（下矢印）からの電話番号が表示されます。 選択ボタン（ナビゲーションバーの中央）を押して、強調表示された項目を選択できます。
9	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。
10	スピーカフォン ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。
11	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。
12	ミュート ボタン 	マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージ ボタン 	ボイス メッセージ システムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。

15	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション] メニューを開閉します。アプリケーション ボタンを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線テキストラベルとアイコン	設定に応じて、電話またはインターコム回線、スピードダイヤル番号、サービスのテキストラベルとアイコンが表示されます。
3	プライマリ回線の詳細とその他の電話機情報	プライマリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
4	セカンダリ回線の詳細とその他の電話機情報	セカンダリ回線の回線ラベルとコール詳細、および発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどその他の電話機情報が表示されます。
5	ソフトキーラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

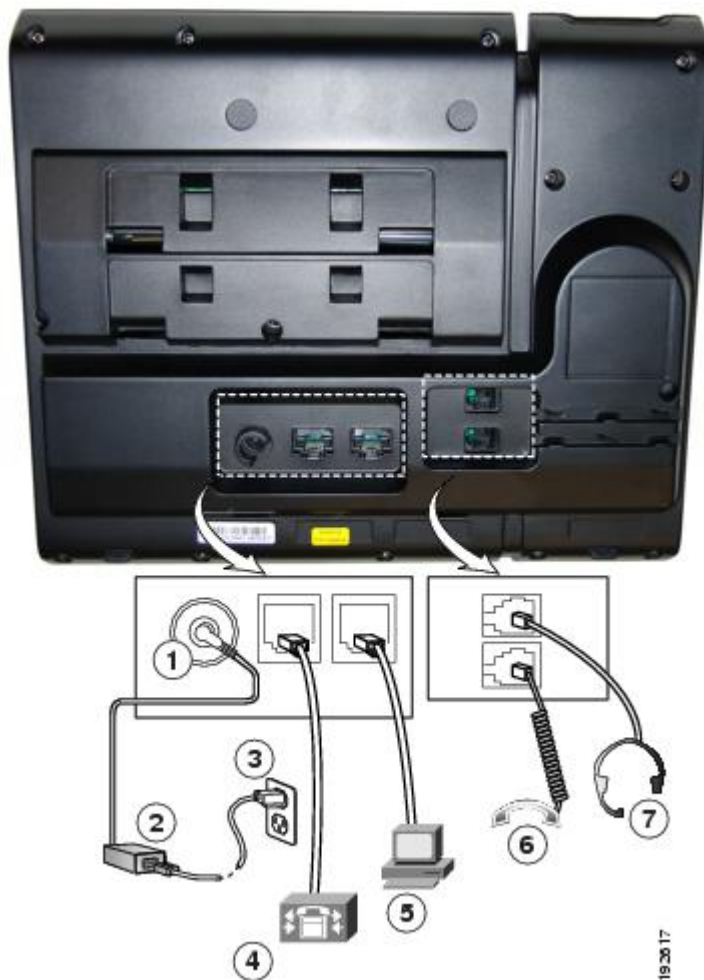
Cisco Unified IP Phone 6961

Cisco Unified IP Phone 6961 は以下を備えています。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- 電話スクリーン

電話機の接続部

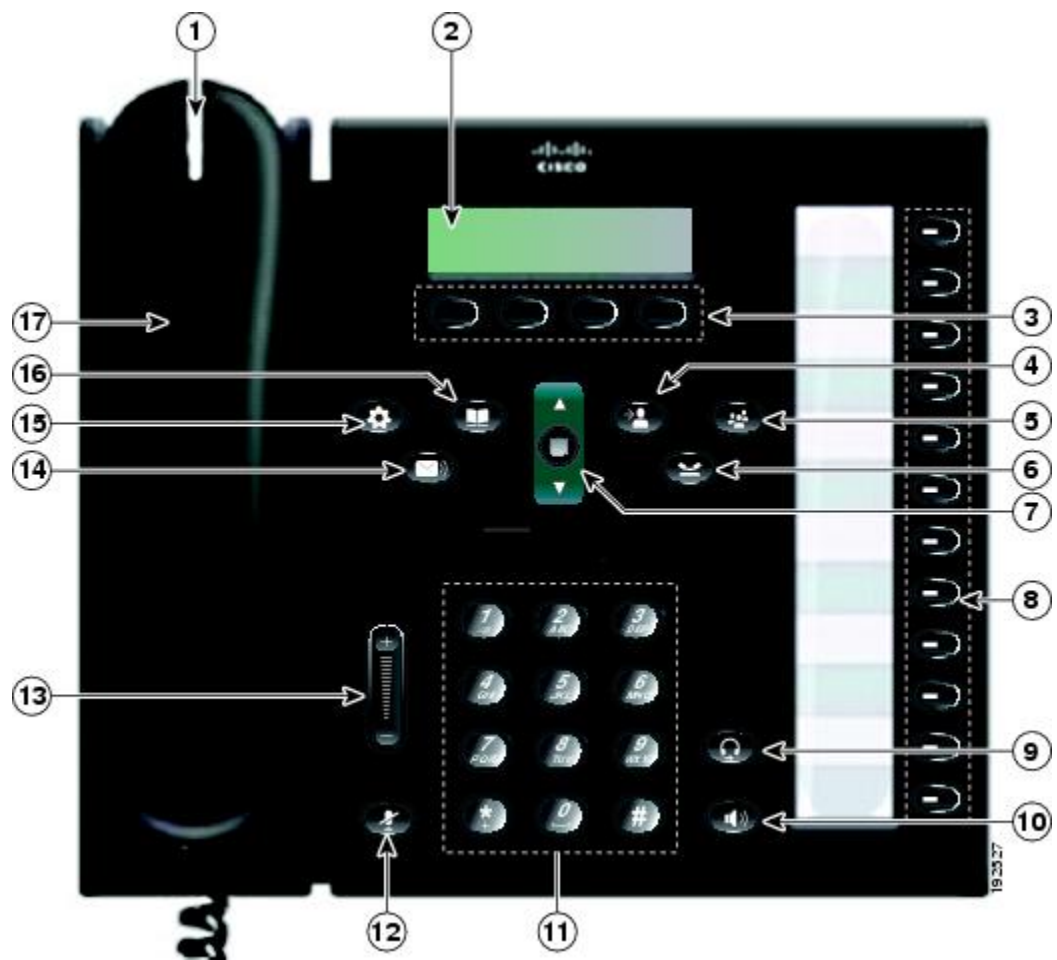
電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。



1	DC アダプタ ポート (DC48V)	5	アクセス ポート (10/100 PC) 接続
---	---------------------	---	-------------------------





2	AC-DC 電源装置 (オプション)	6	ハンドセットの接続
3	AC 電源コンセント (オプション)	7	ヘッドセットの接続 (オプション)
4	ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応)		





ボタンとハードウェア



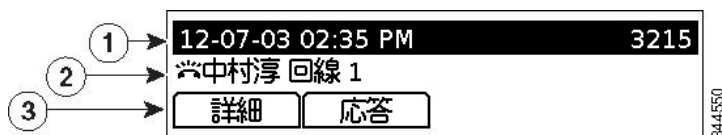
1	ハンドセットのライト ストリップ	着信コール (赤色に点滅) または新しいボイスメッセージ (赤色に点灯) を示します。
---	---------------------	---

2	電話スクリーン	ディレクトリ番号、アクティブなコールと回線のステータス、ソフトキー オプション、スピードダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、電話機に関する情報を表示します。
3	ソフトキー ボタン 	システム管理者による電話機の設定に応じて、使用できるソフトキー オプションが電話スクリーンに表示されます。
4	転送ボタン 	コールを転送します。
5	会議ボタン 	会議コールを開始します。
6	保留ボタン 	アクティブなコールを保留します。
7	ナビゲーションバーと 選択ボタン 	ナビゲーションバーを使用してメニュー内をスクロールし、項目を強調表示できます。電話機がオンフックのときは、発信履歴（上矢印）またはスピードダイヤル（下矢印）からの電話番号が表示されます。 選択ボタンを押して、強調表示された項目を選択できます。

8	<p>プログラマブル機能ボタン</p> 	<p>システム管理者による電話機の設定に応じて、プログラマブル機能ボタンを押して次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線 • スピードダイヤル番号（スピードダイヤル ボタン。回線ステータス スピードダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス（たとえば個人アドレス帳ボタン） • コール機能（たとえばプライバシー ボタン） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコールまたは双方向のインターコムコール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点灯：プライバシー使用中、一方向のインターコムコール、サイレント有効、またはハントグループにログイン済み • オレンジ色に点滅：着信コールまたは復帰コール • 赤色に点灯：リモート回線使用中（共有回線または回線ステータス） • 赤色に点滅：リモート回線保留中
9	<p>ヘッドセット ボタン</p> 	<p>ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。</p>
10	<p>スピーカフォン ボタン</p> 	<p>スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンのときは、ボタンが点灯します。</p>
11	<p>キーパッド</p>	<p>電話番号のダイヤル、文字の入力、メニュー項目の選択（項目番号を入力）を行います。</p>
12	<p>ミュート ボタン</p> 	<p>マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。</p>

13	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
14	メッセージボタン 	ボイスメッセージシステムに自動ダイヤルします（システムによって異なります）。
15	アプリケーションボタン 	[アプリケーション]メニューを開閉します。アプリケーションボタンを使用して、通話履歴、ユーザ設定、電話機設定、電話機モデル情報にアクセスできます。
16	連絡先ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。連絡先ボタンを使用して、パーソナルディレクトリと社内ディレクトリにアクセスできます。
17	ハンドセット	電話機のハンドセットです。

電話スクリーン



1	ヘッダー	日付、時刻、ディレクトリ番号を表示します。
2	回線の詳細とその他の電話機情報	コール中は、アクティブな回線の詳細が表示されます。コール中でない場合は、回線テキストラベルと、発信履歴、スピードダイヤル、電話メニューリストなどの情報が表示されます。
3	ソフトキーラベル	使用できる機能または操作のソフトキーが表示されます。

電話に関する全般情報

フットスタンド

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けて、好みの高さに表示角度を設定できます。



1	高い表示角度にする場合に使用するフットスタンドスロット	2	低い表示角度にする場合に使用するフットスタンドスロット
---	-----------------------------	---	-----------------------------

高い表示角度

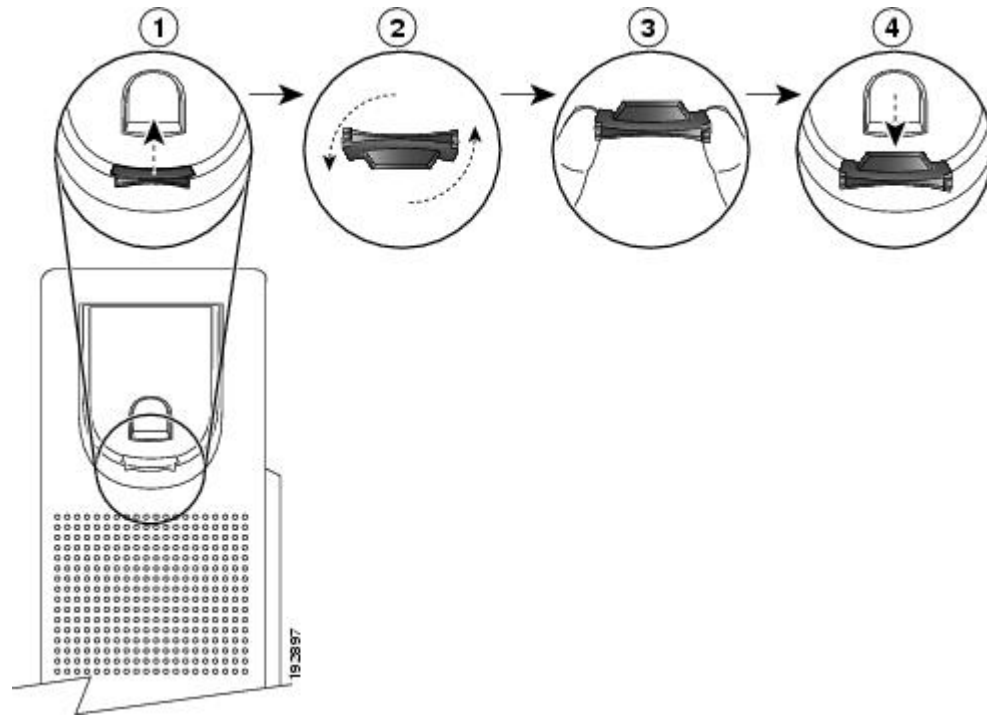


低い表示角度



ハンドセット受け台の調整

電話機が壁に取り付けられている場合は、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセット受け台を調整する必要があります。



手順

- ステップ1 ハンドセットを受け台から外し、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
- ステップ2 タブを 180 度回します。
- ステップ3 コーナーのノッチを手前に向けて、2本の指でタブを持ちます。
- ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
- ステップ5 ハンドセットをハンドセット受け台に戻します。

省電力モード

お使いの電話機は Cisco EnergyWise (EW) プログラムをサポートしています。節電のための電話機のスリープ (電源オフ) と復帰 (電源オン) の時間はシステム管理者が設定します。

スケジュールされたスリープ時間の10分前になると、選択ボタンが点滅し、特定の時間が経過すると電話機の電源がオフになることを知らせるメッセージが表示されます。システム管理者が省電力モードを有効にしている場合、呼出音が再生されます。次のスケジュールで呼出音が再生されます。

- 電源オフの10分前になると、呼出音が4回再生されます。
- 電源オフの7分前になると、呼出音が4回再生されます。
- 電源オフの4分前になると、呼出音が4回再生されます。
- 電源オフの30秒前になると、呼出音が15回または電話機の電源がオフになるまで再生されます。

スリープの時間になったときに電話機が非アクティブ（アイドル状態）の場合、電話機の電源がオフになります。電話機がアクティブ（コール中など）の場合、電話機が一定時間非アクティブになるのを待ってから電源がオフになります。

電話機がスリープ状態になった後は、選択ボタンを押すと電話機が復帰します。電話機が一定時間非アクティブになっていると、再びスリープ状態になります。設定されている復帰時間になると電話機の電源がオンになります。

復帰時間とスリープ時間は、設定済みの通常の労働日にもリンクされています。勤務時間や勤務日が変わるなどして要件が変わった場合は、システム管理者に連絡して電話機を再設定してもらってください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



第 2 章

アプリケーション

電話アプリケーションを使用すると、次のいずれかにアクセスできます。


- [サービス, 27 ページ](#)
- [通話履歴, 28 ページ](#)
- [設定, 31 ページ](#)
- [電話の情報, 33 ページ](#)
- [管理者設定, 34 ページ](#)

サービス

IP Phone サービスには、電話機の特別な機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）などがあります。電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

アクセス サービス

手順

- ステップ 1** アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ 2** ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールしてアクセスするサービスを選択します。
 - ステップ 3** [選択] ソフトキーを押すか、または [終了] を押してアプリケーション画面に戻ります。
-

通話履歴

通話履歴を使用すると、電話機の最近の 150 件のコールに関する情報を表示できます。コールアイコンが表示され、コールのタイプを示します。

- 着信
- 発信
- 不在着信

コールアイコンとともに、発信者 ID が表示されます。発信者 ID の情報がない場合は電話番号が表示され、電話番号が使用できない場合 [不明] と表示されます。すべての通話履歴項目は 1 つのリストにまとめられ、日時の新しいものから順番に表示されます。

最大 150 件のコールが表示されますが、この最大件数は回線 1 つあたりではなく、電話機 1 台あたりの数です。たとえば、電話機に複数の回線がある場合は、すべての回線を合わせて最大 150 件となります。



通話履歴のリストは、すべての回線、回線ごと、または不在履歴でソートできます。また、通話履歴のリストから直接電話番号をダイヤルできます。

管理者によって設定されている場合は、通話履歴の各エントリの横にアイコンが表示されます。アイコンはコールを発信したユーザのステータス（不明、アイドル、話し中、またはサイレント）を示します。

管理者によって設定されている場合は、共有回線から受発信したコールが通話履歴に記録されません。通話履歴ログを表示するには、[通話履歴] 画面を開きます。



通話履歴の表示

手順

- ステップ 1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ 2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ 3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ 4 [通話履歴] 画面に戻るには、 を押します。



コールレコードの詳細の表示

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 コールレコードを選択して [詳細] を押します（必要に応じて、先に [次へ] を押します）。
- ステップ5 通話履歴のリストに戻るには、 を押します。


通話履歴のフィルタ

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 選択した回線の不在履歴でソートするには、[不在履歴] を押します。
- ステップ5 通話履歴のリストにすべてのコールを表示するには、[すべてのコール] を押します。
- ステップ6 [通話履歴] 画面に戻るには、 を押します。

通話履歴からのダイヤル




手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 [通話履歴] リストでダイヤルするコールを選択し、次の操作のいずれかを実行します。
 - [コール] を押します。
 - 回線キーを押します。
 - ハンドセットを取り上げます。

- スピーカフォン ボタンまたはヘッドセット ボタンを押します。


電話番号の編集

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 編集するコールを選択します。
- ステップ5 [編集] を押します（必要に応じて、先に [次へ] を押します）。
- ステップ6 カーソルを右へ移動するには [>>] を押し、左へ移動するには [<<] を押します。
- ステップ7 番号を削除するには、 を押します。
- ステップ8 編集した番号をダイヤルするには、[ダイヤル] を押します（必要に応じて、先に [次へ] を押します）。
- ステップ9 通話履歴のリストに戻るには、 を押します。


通話履歴のクリア

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 [クリア] を押します（必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します）。
- ステップ5 [削除] を押して通話履歴のリストを削除するか、[キャンセル] を押して [通話履歴] 画面に戻ります。

コールレコードの削除

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [通話履歴] を選択します。
- ステップ3 [すべての回線] または表示する特定の回線を選択します。
- ステップ4 削除するコールを選択します。
- ステップ5 [削除] を押します（必要に応じて、先に [次へ] を押します）。
- ステップ6 [削除] を押してコールを削除するか、[キャンセル] を押して [通話履歴] 画面に戻ります。

設定

次のユーザ設定を指定できます。

- 呼出音
- コントラスト
- ヘッドセットの側音

呼出音



電話機で着信コールと新しいボイスメールメッセージがどのように示されるかをカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調整できます。

電話機が北米の呼び出しカデッツを使用するように設定されている場合は、着信コールと新規ボイスメールメッセージの表示方法をカスタマイズできます。

電話機が日本の呼び出しカデッツを使用する用に設定されている場合は、呼出音をカスタマイズできません。

呼出音の変更

手順


-
- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして[設定]を選択します。
 - ステップ3 [呼出音]を選択します。
 - ステップ4 呼出音を選択します。
 - ステップ5 サンプルを再生するには、[再生]を押します。
 - ステップ6 呼出音を選択するには、[設定]を押します。
 - ステップ7 [適用]を押して選択内容を確認するか、[キャンセル]を押して [呼出音] 画面に戻ります。
 - ステップ8 [設定]画面に戻るには、 を押します。
-

コントラスト

電話スクリーンのコントラストレベルを調整できます。デフォルト設定のコントラストレベルは50%です。

コントラストの調整

手順


-
- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして[設定]を選択します。
 - ステップ3 [コントラスト]を選択します。
 - ステップ4 コントラストを上げるには、ナビゲーションバーの上矢印を押します。コントラストを下げるには、下矢印を押します。
 - ステップ5 [保存]を押してコントラストレベルを設定するか、[キャンセル]を押して終了します。
-

ヘッドセットの側音

システム管理者によって設定されている場合は、電話機からヘッドセットの音量を指定できます。

ヘッドセットの側音の調整

手順

-
- ステップ1** アプリケーション ボタンを押します。
- ステップ2** ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、[設定] を選択します。
- ステップ3** [ヘッドセットの側音] を選択します。
- ステップ4** 次のいずれかの側音レベルを選択します。
- 高い
 - 中
 - 低い
 - オフ
- ステップ5** [設定] 画面に戻るには、 を押します。
-


電話の情報

電話の情報では、次に示す電話機のモデル情報を表示できます。

- モデル番号
- IP アドレス
- MAC アドレス
- Unified Video Advantage
- アクティブ ロード
- 非アクティブ ロード
- 前回のアップグレード
- アクティブ サーバ
- スタンバイ サーバ
- バックライト点灯時刻
- バックライト点灯継続時間
- バックライト放置時自動消灯
- バックライト非点灯日

電話の情報の表示

手順

-
- ステップ1** アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [電話の情報] を選択します。
- ステップ3** [終了] ソフトキーを押して [アプリケーション] 画面に戻ります。
-

管理者設定

管理者設定へのアクセスおよび変更方法については、システム管理者にお問い合わせください。



第 3 章

連絡先

Cisco Unified IP Phone 6921/6941/6945/6961 では、次のディレクトリを使用して、社内および個人の連絡先にアクセスできます。

- [社内ディレクトリ, 35 ページ](#)
- [パーソナルディレクトリ, 37 ページ](#)

社内ディレクトリ


社内ディレクトリには、電話機からアクセスできる社内の連絡先が含まれています。このディレクトリの設定および保守は、システム管理者が行います。

次のときに、社内ディレクトリからダイヤルできます。

- 別のコールに応答していないとき
- 別のコールに応答しているとき

連絡先の検索と連絡先へのダイヤル



手順

- ステップ 1** 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2** ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして[社内ディレクトリ]を選択します。
- ステップ 3** 同僚を検索するための条件を選択します。
- 名
 - 姓

- 番号


ステップ 4 検索条件の情報を入力し、[送信] を押して、連絡先を選択します。

ステップ 5 次の操作のいずれかを実行して、連絡先にダイヤルします。

- [ダイヤル] を押します。
- [選択] を押します。
- 連絡先のラベル番号を押します。
- 回線ボタンを押します。
- スピーカフォン ボタン  を押します。
- ヘッドセット ボタン  を押します。
- ハンドセットを取り上げます。

コール中の連絡先の検索と連絡先へのダイヤル

手順

ステップ 1 連絡先ボタン  を押します。




ステップ 2 ナビゲーションバーと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして [社内ディレクトリ] を選択します。

ステップ 3 同僚を検索するための条件を選択します。

- 名
- 姓
- 番号

ステップ 4 情報を入力し、[検索]>[ダイヤル] を選択します。

ステップ 5 次の操作のいずれかを実行して、最初のコールを処理します。

- 保留ボタン  を押して最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。
- 転送ボタン  を押して最初の通話相手を 2 番目のコールへ転送し、自分はコールから切断されます。操作を完了するには、ダイヤル後にもう一度転送ボタンを押します。
- 会議ボタン  を押して、自分を含めすべての通話相手との会議コールを開始します。操作を完了するには、ダイヤル後にもう一度会議ボタンを押します。

- [終了] を押して最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。

パーソナルディレクトリ

パーソナルディレクトリには、個人の連絡先リストが含まれています。ファストダイヤル用に、ファストダイヤルコードを自分のパーソナルディレクトリ エントリへ割り当てられます。

パーソナルディレクトリを設定および保守するには、次の 2 つの方法があります。

- 電話機を使用して次の操作を実行できます。
 - パーソナルディレクトリの設定と使用
 - ファストダイヤルコードの割り当てと使用
- ユーザ オプション Web ページを使用して、パーソナルディレクトリを設定して使用することもできます。

関連トピック

[ユーザ オプション](#)

パーソナルディレクトリ オプション


電話機のパーソナルディレクトリ オプションを使用して、次の操作を実行できます。

- ログインとログアウト
- エントリの追加
- エントリの検索
- 電話番号のダイヤル
- エントリの削除
- エントリの編集

パーソナルディレクトリのログインとログアウト


所定の時間が過ぎると、ユーザは自動的に電話機からログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

- ステップ 1** 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして[パーソナルディレクトリ]を選択します。
- ステップ 3** システム管理者から取得したユーザ ID と PIN を入力し、[送信]を押します。
- ステップ 4** ログアウトするには、[ログアウト]を選択して [選択] を押し、次に [OK] を押します。
-


パーソナルディレクトリへのエントリの追加

手順

- ステップ 1** 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ 3** [個人アドレス帳]を選択します。
[エントリの検索]画面が表示されます。
- ステップ 4** [送信]を押します。
- ステップ 5** [新規]を押します。必要に応じて、先に [次へ] を押します。
- ステップ 6** ニックネーム情報を入力します。
名前を入力することもできます。
- ステップ 7** [電話]を押し、電話番号を入力します。
必ず 9 や 1 などの必要なアクセスコードも含めます。
- ステップ 8** [送信]を押して、パーソナルディレクトリにエントリを追加します。
-

パーソナルディレクトリのエントリの検索

手順

- ステップ 1** 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ 2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ 3** [個人アドレス帳]を選択します。
- ステップ 4** エントリを検索する次の条件のいずれかを選択するか、すべて選択するか、または何も選択しないままにします。


- 姓

- 名
- ニックネーム

ステップ5 検索条件を入力し、[送信]を押します。
名前が表示されます。


パーソナルディレクトリからの番号のダイヤル

手順

- ステップ1** 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ3** [個人アドレス帳]を選択し、エントリを検索します。
- ステップ4** ダイヤルする、個人アドレス帳のエントリを選択します。
- ステップ5** [ダイヤル]を押します。
-


パーソナルディレクトリのエントリの削除

手順

- ステップ1** 連絡先ボタン  を押します。
- ステップ2** パーソナルディレクトリにログインします。
- ステップ3** [個人アドレス帳]を選択し、エントリを検索します。
- ステップ4** [選択]を押します。
- ステップ5** [編集]を押します。
- ステップ6** [削除]を押します。
必要に応じて、先に [次へ] を押します。
- ステップ7** [OK]を押して削除を確認します。
-

パーソナルディレクトリのエントリの編集

手順

-
- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 パーソナルディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人アドレス帳] を選択し、エントリを検索します。
 - ステップ4 [選択] を押します。
 - ステップ5 [編集] を押します。
 - ステップ6 エントリの情報を変更します。
 - ステップ7 [電話] を押して電話番号を変更します。
 - ステップ8 [更新] を押します。
-

ファストダイヤルコードとパーソナルディレクトリ

電話機を使用して次の操作を実行できます。

- パーソナルディレクトリ エントリへのファストダイヤルコードの割り当て
- ファストダイヤルコードを使用したコールの発信
- ファストダイヤルコードの削除

ファストダイヤルコードのパーソナルディレクトリ エントリへの割り当て

手順

-
- ステップ1 パーソナルディレクトリにログインします（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ2 名前の情報を入力して [送信] ソフトキーを押します。
 - ステップ3 名前を選択して [ファスト] ソフトキーを押します。
 - ステップ4 番号を選択して [選択] ソフトキーを押します。
 - ステップ5 [次へ] ソフトキーを押します。
 - ステップ6 番号に割り当てる新しいファストダイヤルコードに対して [割り当て] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ 1** パーソナルディレクトリにログインし、ファストダイヤルコードを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2** ダイヤルするファストダイヤルコードを選択します。
 - ステップ 3** [ダイヤル] ソフトキーを押します。
-

ファストダイヤルコードの削除

手順

-
- ステップ 1** パーソナルディレクトリにログインし、ファストダイヤルコードを検索します（ナビゲーションバーとボタンを使用し、画面をスクロールして選択します）。
 - ステップ 2** 削除するファストダイヤルコードを選択します。
 - ステップ 3** [削除] ソフトキーを押します。
-



第 4 章


メッセージ

ボイス メッセージは、ボイスメール システムに保存されます。電話機で使用するボイスメール システムは会社が決めます。

- [ボイスメールの個人設定, 43 ページ](#)
- [ボイス メッセージ インジケータ, 43 ページ](#)
- [ボイス メッセージへのアクセス, 44 ページ](#)


ボイスメールの個人設定

手順

- ステップ 1** メッセージ ボタン  を押します。
- ステップ 2** 音声プロンプトに従います。

ボイス メッセージ インジケータ

ボイス メッセージは、次の方法を使用して通知します。

- ハンドセットのビジュアル メッセージ インジケータ ランプを確認します。
ユーザ オプション Web ページを使用して、ビジュアル メッセージ インジケータ ランプを設定できます。
- 次を確認します。
 - (Cisco Unified IP Phone 6941 および 6945 のみ) メッセージ受信アイコン 
 - (Cisco Unified IP Phone 6921 および 6961 のみ) テキスト メッセージ

- コールを発信する際、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから断続トーンが聞こえるか確認します。

断続トーンは回線によって異なり、受信メッセージがある回線を使用しているときだけ聞こえます。

ユーザオプションWebページを使用して、オーディオメッセージインジケータを設定できます。


関連トピック

[回線ごとのボイスメッセージインジケータ設定の変更, \(88 ページ\)](#)

[回線ごとのオーディオボイスメッセージインジケータ設定の変更, \(89 ページ\)](#)

ボイスメッセージへのアクセス

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	次の操作のいずれかを実行します。	<ul style="list-style-type: none"> • すべての回線に残されているボイスメッセージを聞くには、メッセージボタン  を押します。 • 特定の回線のボイスメッセージのみを聞くには、回線ボタンを押してからメッセージボタンを押します。



第 5 章

コール機能

この章では、次のコール機能について説明します。

- [機能ボタンとソフトキー, 46 ページ](#)
- [エージェント グリーティング, 51 ページ](#)
- [応答, 51 ページ](#)
- [自動応答, 52 ページ](#)
- [折返し, 52 ページ](#)
- [コールの転送, 53 ページ](#)
- [コール パーク, 54 ページ](#)
- [コール ピックアップ, 56 ページ](#)
- [コール待機, 58 ページ](#)
- [C 割込, 59 ページ](#)
- [コード, 59 ページ](#)
- [会議, 60 ページ](#)
- [即転送, 62 ページ](#)
- [サイレント, 62 ページ](#)
- [エクステンション モビリティ, 63 ページ](#)
- [ファストダイヤル, 64 ページ](#)
- [保留, 65 ページ](#)
- [ハントグループ, 66 ページ](#)
- [保留復帰, 66 ページ](#)
- [インターコム, 67 ページ](#)

- [回線ステータス, 68 ページ](#)
- [迷惑呼 ID, 68 ページ](#)
- [ミーティング会議, 69 ページ](#)
- [モバイル コネクト, 70 ページ](#)
- [モニタリングと録音, 71 ページ](#)
- [MLPP \(Multilevel Precedence and Preemption\) , 71 ページ](#)
- [回線ごとの複数のコール, 73 ページ](#)
- [ミュート, 76 ページ](#)
- [オンフック ダイヤル, 76 ページ](#)
- [プラス ダイヤル, 77 ページ](#)
- [プライバシー, 77 ページ](#)
- [品質レポート ツール, 78 ページ](#)
- [リダイヤル, 78 ページ](#)
- [共有回線, 79 ページ](#)
- [スピード ダイヤル, 80 ページ](#)
- [転送, 81 ページ](#)
- [WebDialer, 82 ページ](#)

機能ボタンとソフトキー

システム管理者による電話機の設定によっては、このガイドに記載されている機能の一部が使用できない可能性があります。

次の表に、専用機能ボタンで使用できる機能の一部、プログラマブル機能ボタンまたはソフトキーにシステム管理者が設定する機能の一部を示します。

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
C 割込			X
折返し		X	X
すべてのコールの転送		X	X
コール パーク		X	X

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
コールパーク回線ステータス		X	
コールピックアップ		X	X
コールピックアップ回線ステータス		X	
会議	X		X
ダイレクトコールパーク		X	
即転送			X
サイレント (DND)		X	
グループピックアップ		X	X
保留	X		
ハントグループ		X	
インターコム		X	
Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼)		X	X
ミーティング		X	X
モバイルコネクト		X	X
ミュート	X		
他グループピックアップ		X	X
プライバシー		X	
Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポートツール)		X	X

機能名	専用機能ボタン	プログラマブル機能ボタン	ソフトキー
リダイヤル		X	X
サイレントモニタリングと録音			X
スピードダイヤル		X	X
スピードダイヤル回線ステータス		X	
転送	X		X

Survivable Remote Site Telephony の概要

電話機と Cisco Unified Communications Server の通信が中断した場合は、電話機で警告メッセージを受信します。アクティブ コールがある場合、そのコールは確立されたままで、フェールオーバー状態に入ります。このフェールオーバーが Survivable Remote Site Telephony (SRST) 機能です。

フェールオーバー中は、電話機の一部の機能が使用できません。次の表に、一般的な機能とその使用可否を示します。ただし、電話機によってはサポートされていない機能があります。フェールオーバー中の機能の使用可否に関する詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

表 1: フェールオーバー中にサポートされている機能

機能	サポート	注
発信	○	
終了	○	
リダイヤル	○	
応答	○	
保留	○	
復帰	○	
会議	○	

機能	サポート	注
アクティブコールへの会議（参加）	×	[アクティブコール]ソフトキーは表示されません。
会議参加者リスト	×	
転送	○	
アクティブコールへの転送（直接転送）	×	
自動応答	○	
コール待機	○	
発信者 ID	○	
オーディオメッセージ受信インジケータ	○	
すべてのコールのプログラマブル回線キー	○	
応答のプログラマブル回線キー	○	
統合セッション表示	○	会議機能のみがサポートされます。
ボイスメール	○	ボイスメールは、Cisco Unified Communications Manager クラスターの他のユーザと同期されません。
スピードダイヤル	○	
サービス IRL プログラマブル回線キー	○	
ボイスメールへ（即転送）	×	[即転送]ソフトキーは表示されません。
回線フィルタ	一部可	回線はサポートされますが、共有できません。
パーク モニタリング	×	[パーク]ソフトキーは表示されません。

機能	サポート	注
割り込み	×	「この機能は現在使用できません」というメッセージが表示されます。
拡張メッセージ待機インジケータ	×	メッセージ数のバッジは電話機の画面に表示されません。 メッセージ受信アイコンのみが表示されます。
ダイレクト コール パーク	×	ソフトキーは表示されません。
BLF	一部可	BLF 機能キーはスピードダイヤルキーのように動作します。
保留復帰	×	コールは保留状態のままになります。
リモート回線の保留	×	コールはローカル保留コールとして表示されます。
ミーティング	×	[ミーティング] ソフトキーは表示されません。
ピック	×	ソフトキーは動作しません。
グループ ピックアップ	×	ソフトキーは動作しません。
他グループ ピックアップ	×	ソフトキーは動作しません。
迷惑呼 ID	×	ソフトキーは動作しません。
QRT	×	ソフトキーは動作しません。
ハント グループ	×	ソフトキーは動作しません。
インターコム	×	ソフトキーは動作しません。
モビリティ	×	ソフトキーは動作しません。
プライバシー	×	ソフトキーは動作しません。
折返し	×	[折返し] ソフトキーは表示されません。

電話機は接続を失うと、「サービスが制限されています。一部の機能は使用できません」などのメッセージが表示されることがあります。

エージェントグリーティング

エージェントグリーティングを使用すると、ユーザは、事前に録音するあいさつメッセージを作成および更新できます。あいさつメッセージはコール（顧客からかかってきたコールなど）の開始時に再生され、その後でユーザは発信者と会話を始めます。ユーザは、必要に応じていくつかのあいさつメッセージを事前に録音できます。

顧客からコールがあったときには、自分と顧客の両者に対して、事前に録音されたあいさつメッセージが再生されます。ユーザはあいさつメッセージが終わるまでミュートのままにすることも、あいさつメッセージ再生中にコールに応答することもできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

応答

応答機能では、電話機のすべての回線アピランクスで使用できる最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。システム管理者は、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいて応答ボタンを設定します。この機能は、通常は複数の回線を使用するユーザ用に設定されます。

コールが着信すると、コールトーストと呼ばれる通知ウィンドウが電話スクリーンに表示されます。コールトーストは、事前に設定された時間の間表示されたままになっています。

着信コールが別の電話から転送されている場合は、コールが転送されていることを示す追加の情報が表示されることがあります。追加で表示される情報の量はシステム管理者が制御します。追加の情報で、コールを転送したユーザおよび発信者情報を知ることができます。

コールが着信すると、コールトーストと呼ばれる通知ウィンドウが電話スクリーンに表示されます。コールトーストは、事前に設定された時間の間表示されたままになっています。デフォルトの時間の設定は、システム管理者が行います。

着信コールが別の電話から転送されている場合は、コールが転送されていることを示す追加の情報が表示されることがあります。追加で表示される情報の量はシステム管理者が制御します。追加の情報で、コールを転送したユーザおよび発信者情報を知ることができます。

コールを受信するとき、画面に表示される電話番号には、発信者にダイヤルできる番号が含まれます。必要に応じて、この番号には次の数字を含めることができます。

- 外線を取得するためのコード（たとえば、9をダイヤルしなければならない場合など）
- 長距離コード
- 地域コード
- 都市コード
- 電話番号


電話機の通話履歴にはすべての番号が保存されるため、個人アドレス帳に番号を保存できます。

自動応答

自動応答では、呼出音が1回鳴った後、電話機が自動的に着信コールに応答します。
スピーカフォンまたはヘッドセットを使用する自動応答の設定は、システム管理者が行います。

ヘッドセットで自動応答


次の条件に当てはまる場合は、ヘッドセットを使用して着信コールが自動的に応答されます。

- ヘッドセットを使用した自動応答がシステム管理者によって有効にされている。
- ヘッドセット ボタン  が点灯している。
- ヘッドセットが電話機に接続されている。

そうでない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答します。

ヘッドセット ボタンを点灯したままにするには、（ヘッドセット ボタンの代わりに）ボタンとソフトキーを使用してコールを発信し、終了します。システム管理者は、ヘッドセットを自動応答のデフォルト オーディオパスとして設定します。

スピーカフォンで自動応答

ハンドセットを受け台に置いたまま、ヘッドセット ボタン  を消灯させておきます。そうでない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

折返し

折返しを使用すると、話し中または応対不可能な通話相手が応対可能になったときに、電話機でオーディオおよびビジュアル通知を受信できます。

折返しは機能ボタンまたはソフトキーとして電話機に表示される場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

折返し通知の設定

手順

-
- ステップ 1** ビジー トーンまたは呼出音が聞こえている間に、[折返し] を押します。

電話機に確認画面が表示されます。

ステップ 2 [終了] を押して確認画面を終了します。
回線が利用できるようになると、電話機から通知があります。

ステップ 3 [ダイヤル] を押して再びコールを発信します。

コールの転送

コールの転送を使用すると、電話機にかかってきたコールを別の番号に自動的に転送できます。プライマリ回線の場合は、電話機に直接、すべてのコールの転送を設定できます。その他のすべての回線の場合や、すべてのコールの転送にリモートでアクセスする場合は、ユーザ オプション Web ページに移動します。

システム管理者が電話機に設定できるコール転送機能には、次の 2 種類があります。

- 無条件のコール転送（すべてのコールの転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きのコール転送（応答なし転送、話中転送、圏外転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。

電話機からコールを転送する場合は、次の手順に従います。


- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや地域コードを入力します。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、次のようなその他のコール転送オプションを設定できます。
 - 転送先の電話番号から自分の電話機にコールが発信された場合、コールを自動的に転送するのではなく、呼出音を鳴らす。
 - 転送ループが生じたり、転送チェーンで最大リンク数を超えたりしないようにする。

関連トピック

[回線ごとのコール転送の設定](#)、(88 ページ)

コールの転送

手順

-
- ステップ 1** [不在] を押します。
- ステップ 2** 転送先の電話番号を入力します。
- ボイスメール システムの設定によっては、メッセージ ボタン  を押して、すべてのコールをボイスメールに自動的に転送できます。
- この機能が有効な場合は、スクリーンにビジュアル通知が表示されます。
- ステップ 3** コールの転送をキャンセルするには、[不在オフ] を押します。
- ステップ 4** 他の回線でコールの転送を行うには、ユーザ オプション Web ページに移動します。
-

コール パーク

コールパーク機能を使用すると、電話機でコールをパーク（一時保存）し、そのコールを別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）から取得できます。

コールをパークするには、次の 2 つの方法があります。

パーク

電話機で応答したアクティブ コールをパークし、Cisco Unified Communications Manager システム内の他の電話機を使用して、そのコールを取得できます。

ダイレクト コール パーク

次の 2 つの方法でアクティブ コールをパークおよび取得できます。

- 処理されたダイレクトコールパーク：システム管理者がスピードダイヤル回線として設定した機能ボタンを使用して、アクティブ コールをパークできます。

このタイプのダイレクトコールでは、回線ステータスインジケータを使用して、回線のステータス（使用中、アイドル、またはサイレント）を監視できます。

- 手動ダイレクトコールパーク：システム管理者が設定したダイレクトコール番号にアクティブ コールを転送して、そのアクティブ コールをパークできます。

パーク取得用のプレフィックス番号（システム管理者から取得）をダイヤルしてから、コールパーク用のダイレクトコール番号をダイヤルして、別の電話機でコールを取得します。

電話機へのダイレクトコールパークまたはパーク機能の設定は、システム管理者が行います。両方は設定できません。

関連トピック

[回線ステータス, \(68 ページ\)](#)


コールのパーク

手順

-
- ステップ1 コール中に [パーク] ソフトキーを押します。
コールに割り当てられたコールパーク番号が電話機に表示されます。
 - ステップ2 電話スクリーンに表示されたコールパーク番号を確認します。
この番号を使用してコールを取得します。
 - ステップ3 電話を切ります。
パークされたコールを取得するまで制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。
 - ステップ4 ネットワーク内の別の Cisco Unified IP Phone で、コールパーク番号を入力してコールを取得します。
-

手動ダイレクトコールパークを使用したコールのパーク

手順

-
- ステップ1 コール中に、転送ボタン  を押します。
 - ステップ2 コールをパークするダイレクトコール番号を入力します。
 - ステップ3 もう一度転送ボタンを押してコールのパークを終了し、切断します。
パークされたコールを取得するまで制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。
 - ステップ4 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。
 - a) パーク取得用プレフィックスを入力します。
 - b) ダイレクトコール番号をダイヤルします。

例：

パーク取得用プレフィックスが「99」で、ダイレクトコール番号が「1234」の場合は、「991234」を入力します。

処理されたダイレクトコールパークを使用したコールのパーク

手順

-
- ステップ 1** コール中に、処理されたダイレクトコールパーク ボタンを押して、アイドル状態の回線ステータス インジケータを表示します。
- ステップ 2** 処理されたダイレクトコールパーク番号からパークされたコールを取得するには、点滅している処理されたダイレクトコールパーク ボタンを押します。
管理者が復帰ディレトリ番号を設定していない場合、パークされたコールはコールをパークした電話機に復帰します。
-

コール ピックアップ

コールピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。

同僚とコール処理タスクを共有する場合、コールピックアップを使用することができます。

コールをピックアップするには、次の3つの方法があります。

- **ピックアップ**：自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。
ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- **グループピックアップ**：次の方法で、自分のコールピックアップグループ以外の電話機でコールに応答できます。
 - グループピックアップ番号（システム管理者から取得）を使用します。
 - 呼出音が鳴っている電話機の番号をダイヤルします。
- **他グループピックアップ**：自分のコールピックアップグループ内、または関連付け先コールピックアップグループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。

システム管理者はコールピックアップグループを設定し、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいてコールピックアップソフトキーを設定します。

システム管理者がスピードダイヤルボタンに回線ステータスインジケータを設定した場合は、回線ステータスインジケータを使用して、呼び出し中のコールを監視およびピックアップできます。回線ステータスインジケータによって、スピードダイヤルボタンと関連付けられた回線のステータス（アイドル状態、使用中、サイレント状態、または呼び出し中）を確認できます。

関連トピック

[回線ステータス, \(68 ページ\)](#)

ピックアップを使用したコールの応答

手順

ステップ 1 次の操作のいずれかを実行します。

- [ピックアップ] を押して、自分のピックアップグループ内の呼び出し中コールを自分の電話機に転送します。
- 回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [ピックアップ] を押します。

電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。

ステップ 2 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用したコールの応答

手順

ステップ 1 次の操作のいずれかを実行します。

- [グループ ピックアップ] を押して、自分のピックアップグループ以外の電話機でコールに回答します。
- 回線が複数存在し、別の回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [グループ ピックアップ] を押します。

ステップ 2 グループ ピックアップ番号を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、これでコールに接続されます。

ステップ 3 コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。

グループピックアップと電話番号を使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** 次の操作のいずれかを実行します。
- [グループピックアップ] を押します。
 - 回線が複数存在し、ある非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押してから [グループピックアップ] を押します。
- ステップ 2** ピックアップするコールがある電話回線の番号を入力します。
たとえば、コールが回線 12345 で呼び出し中の場合は、12345 を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、これでコールに接続されます。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

他グループピックアップを使用したコールの応答

手順

-
- ステップ 1** [他 Grp] を押して、自分のピックアップグループ内または関連付けられているグループ内のコールを、自分の電話機に転送します。
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、これでコールに接続されます。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

コール待機

コール待機機能は、あるコールで会話しているときに新しいコールが到着したことを次の方法で通知します。

- コール待機トーン（ビープ音 1 回）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン

コール待機通知への応答

はじめる前に

この機能を使用するためには、システム管理者が事前に複数の回線を電話機に設定する必要があります。

手順

呼び出し中のコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。電話機によって元のコールが自動的に保留され、呼び出し中のコールが接続されます。

C 割込

C 割込機能を使用すると、自分自身を共有回線上のコールに追加して標準的な（アドホック）会議を行えます。

共有回線の会議への参加

手順

使用中の共有回線の回線ボタンを押します。プライバシーが有効になっている場合は、自分自身を共有回線に追加することはできません。

コード

コードを使用すると、課金またはトラッキングコードを使用してコールを発信できます。電話機では、管理者から取得する次の2種類のコードがサポートされています。

- クライアント識別コード（CMC）では、コードを入力してコールと特定のクライアントとの関連付けを指定する必要があります。管理者は、コールアカウンティングおよび課金のために、クライアント識別コードを顧客、学生、またはその他の集団に割り当てられます。
- 強制承認コード（FAC）を使用すれば、コールアクセスとコールアカウンティングを管理できます。管理者は、コールが接続される前に、ユーザが有効な承認コードを入力するように要求できます。

クライアント識別コードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ1 電話番号をダイヤルします。
 - ステップ2 トーンが鳴ったら、CMC を入力します。
-

強制承認コードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ1 電話番号をダイヤルします。
 - ステップ2 トーンが鳴ったら、FAC を入力します。
-

会議

会議を使用すると、複数の通話相手と同時に会話できます。

あるコールで会話をしているとき、会議を使用して別の通話相手にダイヤルし、それらの通話相手をコールに追加します。

複数の電話回線がある場合は、会議を使用して、回線をまたいで2つのコールを接続できます。たとえば、回線1に1つのコールがあり、回線2にも1つのコールがある場合、それらのコールを1つの会議にまとめることができます。


会議手続きを完了する前に、[キャンセル] ソフトキーを押すと、その手続きをキャンセルできます。あるいは、[切替] ソフトキーを押して複数のコールを切り替えて、それぞれの通話相手と個別に通話できます。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。

すべての参加者が電話を切ると、会議は終了します。

会議への第三者の追加

手順


-
- ステップ1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ2 会議ボタン  を押します。
 - ステップ3 追加する通話相手の電話番号を入力します（または、スピードダイヤルボタンを押します）。
 - ステップ4 相手が応答するのを待ちます（または呼び出し中にステップ5に進みます）。
 - ステップ5 もう一度会議ボタンを押します。
会議が開始します。
 - ステップ6 （任意） 必要に応じてこの手順を繰り返し、参加者をさらに追加します。
-

複数のコールを接続して会議を実行

はじめる前に

この操作には、複数の電話回線が必要です。

手順

-
- ステップ1 接続しているコールが2つあり、そのうち1つのコールがアクティブである（保留されていない）ことを確認します。
 - ステップ2 会議ボタン  を押します。
 - ステップ3 もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。
会議が開始します。アクティブコールがある回線上で会議が確立されます。
-

会議実行前のコール間での切り替え

この手順を使用して、会議に別の参加者を追加する前に、会議とその参加者に個別に打診できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	新しい会議参加者にコールしますが、その参加者は会議に追加されません。	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	参加者と会議を切り替えるには、[切替] を押します。	

会議参加者の表示

手順

会議中に、[詳細] ソフトキーを押すと、会議に参加した最近の 16 人の参加者が表示されます。

会議参加者の削除

手順

-
- ステップ 1 会議中に [詳細] ソフトキーを押して、参加者のリストを表示します。
 - ステップ 2 削除する参加者を強調表示してから、[削除] ソフトキーを押します。
-

即転送

即転送を使用すると、アクティブなコールまたは呼び出し中のコールを、自分のボイスメールシステムや所定の電話番号（システム管理者が設定）に送信できます。

コールの転送

手順

[即転送] を押すと、アクティブなコール、呼び出し中のコール、または保留中のコールを自分のボイスメールシステムやシステム管理者が設定した所定の電話番号に送信できます。

サイレント

サイレント（DND）では、着信コールの通知をオフにできます。これを使用して、電話機の呼出音をオフにしたり、オーディオ通知やビジュアル通知をオフにしたりできます。

呼出音と通知をオフにすると、コールは直接ボイスメールシステムに送信されます。

システム管理者が電話機の回線ボタンまたはソフトキーをサイレント用として設定しますが、ユーザはユーザ オプション Web ページでサイレントのオプションを変更できます。

サイレントは、他のコール機能と一緒に使用できます。

- サイレントとすべてのコールの転送の両方が有効な場合、コールはビジュアル通知またはオーディオ通知なしで自動的に転送されます。
- サイレントはインターコム コールまたは非インターコム優先コールには影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効な場合は、インターコム コールのみが自動的に応答されます。

関連トピック

[ユーザ オプション](#)

サイレントのオン/オフ

手順



-
- ステップ 1** サイレントをオンにするには、[サイレント] を押します。
ビジュアル通知が短い時間、表示されます。
 - ステップ 2** サイレントをオフにするには、もう一度 [サイレント] を押します。
ビジュアル通知が短い時間、表示されます。
-

エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を自分用として設定できます。EM にログインすると、電話機には「リセット中。お待ちください」というメッセージが表示されてから「登録」と表示されます。リセットすることで、電話回線、機能、確立されたサービス、および Web 設定などのユーザプロファイルを、電話機が適用できるようになります。EM はシステム管理者が設定します。

エクステンション モビリティの有効化

手順

-
- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ2 [EM サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
 - ステップ3 ユーザ ID と PIN（システム管理者から取得）を入力します。
 - ステップ4 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
 - ステップ5 ログアウトするには、アプリケーション ボタン  を押します。
 - ステップ6 [サービス] を選択します。
 - ステップ7 [EM サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
 - ステップ8 ログアウトするようプロンプトが表示されたら、[はい] を押します。
-

ファスト ダイヤル

ファスト ダイヤルを使用すると、電話機のファスト ダイヤル サービスから電話番号をダイヤルできます。電話機でファスト ダイヤルを使用する前に、ユーザ オプション Web ページでファスト ダイヤルを設定する必要があります。


関連トピック

[ファストダイヤルの設定, \(97 ページ\)](#)

ファスト ダイヤルを使用したコールの発信

電話機でファスト ダイヤルを使用する前に、ユーザ オプション Web ページでファスト ダイヤルを設定する必要があります。

手順

-
- ステップ1 連絡先ボタン  を押します。
 - ステップ2 パーソナル ディレクトリにログインします。
 - ステップ3 [個人ファスト ダイヤル] を選択します。
 - ステップ4 ファスト ダイヤル コードを選択し、[ダイヤル] を押します。
-



保留

保留を使用すると、アクティブ コールを保留状態にできます。電話機では、一度に1つのアクティブ コールに対応でき、その他のコールは保留にされます。

これによって、電話機と USB ヘッドセットの操作が保留されます。

コールの保留

手順

-
- ステップ 1** コールを保留にするには、保留ボタン  を押します。
保留アイコン  が表示され、回線ボタンが緑色に点滅します。
- ステップ 2** コールを再開するには、[復帰] または緑色に点滅している回線ボタンを押します。
-

保留中のコールとアクティブ コールの切り替え

手順

電話機が複数の回線をサポートしている場合は、回線ボタンを使用して、保留中のコールとアクティブなコールを切り替えます。

例：

回線 1 に保留されたコールがあり、回線 2 にアクティブなコールがある場合は、回線 1 ボタンを押すと回線 1 のコールがアクティブになり（保留解除、再開）、回線 2 のコールは自動的に保留にされます。

新しいコールへの応答


電話機が複数の回線をサポートしており、コール中に新しいコールの呼び出しがあった場合、新しいコールに応答すると、最初のコールは自動的に保留になります。

手順

新しいコールに応答するには、次の操作のいずれかを実行します。

- [応答] を押します。
- オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。

共有回線でのリモート回線の保留

赤色に点滅する回線ボタンと保留アイコン  を確認します。これらのインジケータが表示されている場合、共有回線のコールは他のユーザによってリモートで保留にされています。

ハント グループ

ハント グループは、大量の着信コールがある組織のコールの負荷を共有するために使用します。

システム管理者は、一連の電話番号を使用してハントグループを設定します。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

ハントグループのメンバーは、ハントグループにログインするとコールを受信します。また、グループからログアウトすると呼出音が鳴らなくなります。

管理者が [キューのステータス] ボタンを設定するため、ハントグループのキューに関する統計情報を表示できます。

リストにアクセスするグループの電話に関係なく、グループコールキューのコールは同じコール ID を示します。

ハントグループのログインとログアウト

ハントグループからログアウトしても、ダイレクトコールは引き続き着信します。

手順

-
- ステップ 1** ログインするには、[ハントグループ] を押します。
ビジュアル通知が短い時間、表示されます。
- ステップ 2** ログアウトするには、もう一度 [ハントグループ] を押します。
-

保留復帰

保留復帰では、コールが保留中のままになっていることを通知します。

保留復帰通知は、新規コールの通知に似ており、次の合図が出されます。

- 1 回の呼出音（一定間隔で繰り返す）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- ハンドセット上で点滅するメッセージインジケータ

- 電話スクリーンでのビジュアル通知

保留復帰通知への応答

手順

保留を解除してコールを再開するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは [応答] を押します。

インターコム

インターコムでは、専用インターコム回線を使用して、一方向のコールを発信、受信できます。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効（ウイスパー）になって自動応答し、受信者のスピーカフォンから（ヘッドセットまたはハンドセットを使用中の場合はそのいずれかから）メッセージをブロードキャストします。

インターコム コールの受信後、受信者は双方向オーディオ（接続）を開始して、コールを継続できます。

インターコム コールの発信

手順

-
- ステップ 1** [インターコム] を押します。
電話機がインターコムコードを自動ダイヤルする場合は、アラート トーンが聞こえた後に話し始めます。それ以外の場合は、ステップ 2 に進みます。
- ステップ 2** インターコム コードを入力し、アラート トーンが聞こえたら話し始めます。
-

インターコム コールの受信

インターコム コールを受信すると、インターコムのアラート トーンが聞こえ、電話機がコールに自動応答します。現在行っている通話は同時に継続されますが、インターコムの発信者には受信者の声は聞こえません。

手順

インターコムの発信者と会話するには、アクティブなインターコム ボタンを押します。





回線ステータス

回線ステータス インジケータによって、スピードダイヤル ボタンに割り当てられた電話回線の状態を確認できます。

電話機の回線ステータス インジケータの設定は、システム管理者が行います。

回線ステータス インジケータ

回線ステータス インジケータは、回線の状態を示します。

アイコン	インジケータ
	回線は使用中です。
	回線はアイドル状態です。
	回線は Do Not Disturb (DND; サイレント) 状態です。
	回線は呼び出し中です (コール ピックアップ専用の状態)。

回線ステータス インジケータは、システム管理者がスピードダイヤル ボタンに設定できます。次の機能を持たせて使用できます。

- **スピードダイヤル** : スピードダイヤル ボタンに設定された番号のステータスを監視 (またその番号にダイヤル) できます。
- **コール ピックアップ** : スピードダイヤル ボタンの回線ステータスを監視 (またその回線で呼び出し中のコールをピックアップ) できます。

システム管理者は、監視している回線でコールが呼び出し中の場合に、電話機がオーディオアラートを鳴らすようにも設定できます。

関連トピック

- [スピードダイヤル, \(80 ページ\)](#)
- [コール パーク, \(54 ページ\)](#)
- [コール ピックアップ, \(56 ページ\)](#)

迷惑呼 ID

迷惑呼 ID (MCID) では、アクティブ コールを不審なコールとして識別し、一連の自動化されたトラッキングと通知メッセージの表示を開始できます。

不審なコールのトレース

手順

サイレント通知メッセージをシステム管理者に送信するには、[発信者のレポート]を押します。サイレント通知メッセージが送信されると、電話機ではビジュアル通知とオーディオ通知の両方が発生します。

ミー ト ミー 会議

ミー ト ミーを使用すると、スケジュールした時刻に所定の番号にコールしてミー ト ミー会議を開催したり、ミー ト ミー会議に参加したりすることができます。

ミー ト ミー会議は、ホストが接続すると開始されます。ホストが参加する前に会議にコールすると、参加者にはビジー トーンが聞こえます。その場合は、もう一度ダイヤルする必要があります。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。ホストが切断しても会議は自動的に終了しません。

ミー ト ミー 会議の開催

手順

-
- ステップ 1** システム管理者からミー ト ミー電話番号を取得します。
 - ステップ 2** 参加者にミー ト ミー電話番号を配布します。
 - ステップ 3** 会議を開始する準備ができたなら、ハンドセットを取り上げてダイヤル トーンを受信し、[ミー ト ミー]を押します。
 - ステップ 4** ミー ト ミー電話番号をダイヤルします。
-

ミー ト ミー 会議への参加

手順

-
- ステップ 1** 会議ホストから取得したミー ト ミー電話番号をダイヤルします。
 - ステップ 2** ビジー トーンが聞こえる場合は、ホストがまだ会議に参加していません。その場合は、電話を切り、もう一度発信し直す必要があります。
-

モバイルコネク

モバイルコネクでは、携帯電話を使用して、デスクの電話番号にかかってきたコールを処理できます。

モバイルコネクを設定するには、ユーザ オプション Web ページを使用してリモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするアクセスリストを作成します。

モバイルコネクを有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクの電話機とリモート接続先が同時にコールを受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機では、呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先とデスクの電話機では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

関連トピック

[アクセスリストの作成](#)、(101 ページ)

[新規リモート接続先の追加](#)、(100 ページ)

モバイルコネクの有効化

手順

-
- ステップ 1** [モビリティ] を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
 - ステップ 2** [選択] を押してステータスを変更します。
 - ステップ 3** [終了] を押します。
-

関連トピック

[新規リモート接続先の追加](#)、(100 ページ)

コールをデスクの電話機から携帯電話に切り替え

手順

-
- ステップ1** [モビリティ] を押します。
- ステップ2** [携帯電話へコールを送信] を選択します。
- ステップ3** コールの途中に携帯電話で応答します。
他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
デスクの電話機の回線ボタンが赤に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。
-

コールを携帯電話からデスクの電話機に切り替え

手順

-
- ステップ1** デスクの電話機の回線を選択します。
- ステップ2** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ3** 5～10秒以内にデスクの電話機の [復帰] を押し、デスクの電話機で会話を開始します。
-

モニタリングと録音

モニタリングと録音機能を使用すると、コールをモニタリングおよび録音できます。この機能の有効化は、システム管理者が行います。この機能には、全コールの自動録音、またはコールごとの録音を設定できます。

電話機の [録音] ソフトキーを押すと、録音を開始または停止することができます。

コールのモニタリングおよび録音中、オーディオアラートを聞くことができます。デフォルトでは、コールのモニタリングと録音（設定されている場合）を実行しているユーザにオーディオアラートは聞こえません。

MLPP (Multilevel Precedence and Preemption)

(SCCP のみ)

軍隊や行政機関のオフィスなどの特別な環境では、緊急のコールや重要なコールの発信および受信が必要になることがあります。このような特別なコールの処理が必要な場合は、システム管理者が電話機に MLPP (Multilevel Precedence and Preemption) を追加することができます。

次の用語を覚えておいてください。









- **Precedence** とは、コールに関連付けられた優先度を示します。
- **Preemption** とは、優先度の低い既存のコールを終了させて、電話機に送信された優先度の高いコールを受け付ける処理です。

発信コールについてプライオリティ (優先) レベルを選択する場合は、対応するコールの優先度番号のリストについてシステム管理者に問い合わせてください。

プライオリティ (優先) コールを発信する場合は、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力し、その後に電話番号を入力します。

通常より速い特殊な呼出音または特殊なコール待機音が聞こえる場合は、プライオリティ (優先) コールが着信しています。電話スクリーンに表示される MLPP アイコンは、コールの優先度レベルを示します。

コールの優先度レベルを参照したい場合は、電話スクリーンの MLPP アイコンを探してください。

MLPP アイコン	優先度レベル
	最も高い優先度の (フラッシュオーバーライドまたはエクゼクティブオーバーライド) コール
	
	高い優先度の (フラッシュ) コール
	
	中程度の優先度の (即時) コール
	
	プライオリティ (優先) コール
	

白または黒の背景色の MLPP アイコンは、コールが選択されているかどうかを示します。

優先度が高いコールは、コールリストの一番上に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合は、コールのプライオリティレベルは通常（標準）です。

優先度が高いコールを受け付ける場合は、通常と同じようにコールに応答します。必要な場合は、アクティブなコールを先に終了します。

コールの最中に継続的にトーンが聞こえる場合は、現在のコールよりも優先する必要があるコールが着信しています。優先度の高いコールを受信するために、ただちに通話を終了してください。

MLPP を使用したコールを発信または受信した場合は、通常のトーンとは異なる、特殊な呼出音およびコール待機音が聞こえます。

無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声案内によってエラーが警告されます。

次の場合には、MLPP を使用したコールの優先度と優先ステータスがそのまま維持されます。

- コールの保留
- コールの転送
- 3 者会議へのコールの追加
- ピックアップを使用したコールの応答

回線ごとの複数のコール

各回線は複数のコールをサポートすることができます。デフォルトでは、電話機は回線ごとに 2 つのアクティブなコールをサポートします。回線ごとのアクティブなコールの最大数は 6 です。システム管理者はニーズに応じてこの数を調整することができます（ただし 6 コールまで）。一度に接続できるコールは 1 つだけであり、他のコールは自動的に保留になります。

同じ回線上の 2 番目のコールへの応答

手順

同じ回線上の 2 番目のコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。アクティブなコールおよび回線上のコールの数に応じて、電話スクリーンのテキストが変化します。

アクティブなコールがある場合はそのコールが保留になり、2 番目のコールに応答できます。

同じ回線上のコールの切り替え

手順

-
- ステップ1 同じ回線上の2つコール間で切り替えるには、回線ボタンを押します。
 - ステップ2 回線上に3つ以上のコールがある場合は、コールリストからコールを選択してコールを再開できます。
-

異なる複数の回線上のコールの切り替え

手順

-
- ステップ1 切り替え先のコールの回線ボタンを押します。
 - ステップ2 その回線上で1つのコールが保留になっている場合は、そのコールが自動的に再開されます。複数のコールが保留になっている場合は、コールを選択するように要求されます。適切なコールを強調表示し、[復帰]を押します。
-

複数のコールがある回線上でのコールの終了

コールが完了した後で、回線上に引き続き複数のコールがある場合、電話スクリーン回線上の他のコールのリストが表示されます。

最大発信コール数


1つの回線の最大コール数まで後1つになると、自動的に発信コールが次の利用可能な回線に切り替えられます。たとえば、最大コール数が6に設定されている場合、6番目の発信コールは、自動的に次の利用可能な回線に切り替えられます。

同じ回線上の2つのコールを使用して会議を実行

手順


-
- ステップ1 同じ回線上に2つの接続されたコールがあるときに、1つのコールを選択してアクティブなコールにします。

もう一つのコールは保留状態になります。

- ステップ2** 会議ボタン  を押します。
- ステップ3** 参加者の電話番号を入力します。
回線の最大コール数に達したときに、会議ボタンを押すと、回線上のコールのリストからコールを選択することができます。いずれかのコールを選択するか、別の回線ボタンを押して、コールリストからコールを選択して会議を実行します。
- ステップ4** コールが接続されるまで待ちます。
新しい会議参加者にコールした後、その参加者を会議に追加する前に[切替]を押して、2つのコール間で切り替えることができます。これによって、会議の実行を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。
- ステップ5** 会議ボタンを押して、参加者をコールに追加します。
会議が開始します。
- ステップ6** (任意) 参加者を追加するには、この操作を繰り返します。

同じ回線上の2つのコールの転送

手順

- ステップ1** 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
- ステップ2** 転送ボタン  を押します。
- ステップ3** 転送先の電話番号を入力するか、またはスピードダイヤルボタンを押します。
回線の最大コール数に達したときに、転送ボタンを押すと、回線上のコールのリストからコールを選択することができます。いずれかのコールを選択するか、別の回線ボタンを押して、コールリストからコールを転送するコールを選択します。
- ステップ4** 相手が応答するのを待ちます。または、コールの呼び出し中にステップ5へ進みます。
- ステップ5** もう一度転送ボタンを押します。
転送が完了します。
- [切替]を押して2つのコールを切り替えられます。これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。

複数の着信コール

さまざまな方法で複数の着信コールを処理できます。

- 最初のコールの呼び出し中に回線上で2番目の着信コールがあった場合、電話スクリーンのテキストが着信コールの総数に合わせて変化します。

- さらに着信コールがあった場合は、[応答]を押すと全回線のすべてのコールが表示されます。
- 同じ回線上で着信コールがあると、そのコールがコールリストに追加されます。回線ボタンを押すと、その回線上のコールのリストを表示することができます。
- 2つのコールが同時に電話機に着信した場合は、次の操作を実行します。
 - [応答] または回線ボタンを押してコールに応答します。
 - 別の回線の回線ボタンを押して、その回線上の着信コールのリストを表示します。

共有回線

さまざまな方法で共有回線を使用して複数のコールを処理できます。


- 共有回線上に2つまたは3つのリモートコールがある場合、回線上のコールの数およびコールの状態は発信者 ID でわかります。
- その回線上で1つ以上のコールが保留になっている場合は、回線ボタンが赤色に点滅します。
- すべてのコールが使用中の場合は、回線ボタンが赤色に点灯します。

ミュート

ミュートを使用すると、ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンのオーディオ入力をブロックできます。コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にはこちらの声は聞こえません。

電話機のミュート

手順

-
- ステップ 1** ミュート ボタン  を押し、ミュートをオンにします。ビジュアル通知が表示されます。
- ステップ 2** もう一度ミュート ボタンを押すと、ミュートはオフになります。
-

オンフック ダイヤル

オンフックダイヤルを使用すると、ダイヤルトーンを聞く前に電話番号を入力し、ハンドセットを持ち上げてコールを完了できます。

オンフックでの電話番号のダイヤル

手順

-
- ステップ1 電話番号を入力するか、スピードダイヤルを発信します。
 - ステップ2 オフフックにします。
-

プラスダイヤル

プラスダイヤルでは、1秒以上アスタリスク (*) キーを押し続けると、電話番号の1桁目として国際電話用のプラス (+) 記号が付加されます。プラス記号は、オンフックまたはオフフックコールにのみ適用されます。

「+」記号が付加された電話番号が表示されている場合は、国際コール用の番号を追加せずにダイヤルできます。

国際電話番号のダイヤル

手順

-
- ステップ1 アスタリスク (*) キーを1秒以上押したままにします。
電話番号の1桁目としてプラス (+) 記号が表示されます。
対応するトーンが停止しますが、これは * が + 記号に変わったことを示します。
 - ステップ2 国際電話番号をダイヤルします。
-

プライバシー

プライバシーを使用すると、回線を共有する他のユーザから自分のコール情報を隠すように設定できます。

プライバシーは、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。共有回線が複数存在し、プライバシーが有効になっている場合は、他のユーザはすべての共有回線を表示できません。

回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。

関連トピック

[共有回線](#), (79 ページ)

共有回線でのプライバシーの有効化

手順

-
- ステップ1** [プライバシー] を押して機能を有効にします。
この機能が有効な場合、電話スクリーンにビジュアル通知が表示されます。
- ステップ2** この機能をオフにするには、もう一度 [プライバシー] を押します。
-

品質レポート ツール

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に品質レポート ツール (QRT) が設定されることがあります。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

電話の問題のレポート

手順

-
- ステップ1** [品質レポート ツール] を押します。
- ステップ2** ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして抱えている問題に最も近い項目を選択します。
- ステップ3** [選択] を押します。
情報がシステム管理者に送信されます。
-

リダイヤル

リダイヤルでは、最後にダイヤルした電話番号に発信できます。

番号のリダイヤル

手順

-
- ステップ 1** 任意の電話回線でコールを発信するには、[リダイヤル]を押します。
- ステップ 2** 特定の電話回線でコールを発信するには、ダイヤル トーンを取得する回線を選択して [リダイヤル]を押します。
-

共有回線

共有回線を使用すると、1つの電話番号を複数の電話機で使用できます。

複数の電話機があり、電話番号は1つで、同僚とコール処理タスクを共有したり、管理者の代理でコールを処理したりする場合は、共有回線を使用します。

たとえば、同僚と回線を共有すると、次のようになります。

- 共有回線にコールが着信した場合
 - 自分の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
 - 同僚の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
- コールに応答した場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に変わります。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に変わります。
回線ボタンが赤色の場合は、その回線を使用してコールに割り込んだり、他のコールを発信したりできません。
- コールを保留にした場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に点滅します。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に点滅します。
回線ボタンが赤色に点滅している場合は、同僚がそのコールをピックアップできます。

通話履歴には、共有回線のすべてのコールのステータスが表示されます。たとえば、共有回線でコールの呼出音が鳴っているときにコールに応答する場合、回線を共有する同僚はコールがリモートで応答されたことを確認します。通話履歴には、発信、受信、リモート発信、リモート受信、または不在着信のコールが識別表示されます。

スピードダイヤル

スピードダイヤル機能を使用すると、ボタンを押す、事前に設定したコードを入力する、または通話履歴から項目を選択することでコールを発信できます。電話機でスピードダイヤル機能を使用する前に、ユーザ オプション Web ページでスピードダイヤルを設定する必要があります。

電話機は設定に応じて、次のようなスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン：スピードダイヤル用として設定された回線ボタンから電話番号をすばやくダイヤルできます。
- スピードダイヤル コード：コードを入力して電話番号をダイヤルできます（「短縮ダイヤル」と呼ぶ場合もあります）。

システム管理者が回線ステータス機能を設定している場合は、回線ステータス インジケータを使用してスピードダイヤル回線のステータスをモニタリングできます。

関連トピック


[\[ユーザ オプション\]でのスピードダイヤルの設定, \(90 ページ\)](#)
[回線ステータス インジケータ, \(68 ページ\)](#)

スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信

はじめる前に

電話機でスピードダイヤル ボタンを使用する前に、ユーザ オプション Web ページでスピードダイヤルを設定する必要があります。

手順

コールを発信するには、スピードダイヤル ボタン  を押します。

スピードダイヤルコードを使用した発信

はじめる前に

電話機でスピードダイヤル コードを使用する前に、ユーザ オプション Web ページでコードを設定する必要があります。

手順

コールを発信するには、スピードダイヤルコードを入力し、[短縮ダイヤル] ソフトキーを押します。

転送


転送を使用すると、接続されているコールを自分の電話機から別の番号へリダイレクトできます。転送または直接転送を使用できます。

- 転送：単一のコールを指定した別の番号へリダイレクトできます。
- 直接転送：2つの異なる回線にある2つのコールを、自分自身は回線上に留まることなく相互に接続できます。

転送手続きを完了する前に、[キャンセル] ソフトキーを押すと、その手続きをキャンセルできます。あるいは、[切替] ソフトキーを押して複数のコールを切り替えて、それぞれの通話相手と個別に通話できます。

別の番号へのコールの転送


手順

-
- ステップ1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ2 転送ボタン  を押します。
 - ステップ3 転送先の電話番号を入力するか、またはスピードダイヤル ボタンを押します。
 - ステップ4 相手が応答するのを待ちます。または、コールの呼び出し中にステップ5へ進みます。
 - ステップ5 もう一度転送ボタンを押します。転送が完了します。
-

別の回線へのコールの転送

この操作には、複数の電話回線が必要です。

手順

-
- ステップ1 接続しているコールが2つあり、そのうち1つのコールがアクティブである（保留されていない）ことを確認します。
 - ステップ2 転送ボタン  を押します。
 - ステップ3 もう1つの（保留中の）コールの回線ボタンを押します。転送が完了します（2つのコールが相互に接続されます）。
-

転送完了前のコールの切り替え

転送先と接続した後でコールをその通話相手に転送する前に、[切替] を押して 2 つのコールを切り替えることができます。これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。

WebDialer

WebDialer を使用すると、Cisco Unified CM ディレクトリの連絡先をクリックするだけでダイヤルできます。この機能はシステム管理者が設定します。

WebDialer と Cisco ディレクトリの使用

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ディレクトリ] を選択し、同僚を検索します。
 - ステップ 3 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウの設定を確認します。
 - ステップ 5 [ダイヤル] を選択します。
これで、電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6 コールを終了するには、[終了] を選択するか、電話機でコールを切断します。
-

WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用

手順

- ステップ 1 WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。
- ステップ 2 ダイヤルする番号を選択します。
- ステップ 3 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
- ステップ 4 初めて WebDialer を使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウの設定を確認します。
- ステップ 5 [ダイヤル] を選択します。
これで、電話機からコールが発信されます。

ステップ 6 コールを終了するには、[終了] を選択するか、電話機でコールを切断します。

WebDialer の初期設定の変更


手順

ステップ 1 WebDialer を使用してコールを開始し、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウにアクセスします。
[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます（ダイヤルする番号を選択した後）。

ステップ 2 [Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウで、次のいずれかのオプションを選択します。

- 優先する言語：WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。
- 優先するデバイスを使用する：WebDialer コールを発信するために使用する Cisco Unified IP Phone（コールに使用するデバイス）とディレクトリ番号（コールに使用する回線）を識別します。

1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。


ステップ 3 電話機と回線が自動的に選択されない場合は、電話機または回線を選択します。同じタイプの電話機が複数台ある場合は、デバイスタイプと MAC アドレスを使用してリストからデバイスを指定します。電話機に MAC アドレスを表示するには、[アプリケーション]  > [電話の情報] を選択します。

ステップ 4 エクステンション モビリティ プロファイルを持っている場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウの [コールに使用するデバイス] ドロップダウンメニューから [エクステンション モビリティ] を選択します。

- コールの確認ダイアログを表示しない：これを選択した場合、WebDialer を次回使用するときに WebDialer の [Cisco WebDialer - コールの開始] ウィンドウが表示されなくなります。Cisco ディレクトリから連絡先を選択すると、コールが自動的にダイヤルされます。
- 自動終了の無効化：これを選択すると、コール ウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。

WebDialer のログアウト

手順

[Cisco WebDialer - コールの開始] または [Cisco WebDialer - 終了] ウィンドウで、ログアウトアイコン  を選択します。



第 6 章

ユーザ オプション

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用すると Cisco Unified CM のユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、サービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページからスピードダイヤル ボタンを設定できます。

- [ユーザ オプション Web ページのログインとログアウト](#), 85 ページ
- [デバイスの設定](#), 86 ページ
- [ユーザ設定](#), 93 ページ
- [ディレクトリ](#), 95 ページ
- [個人アドレス帳の設定](#), 95 ページ
- [ファストダイヤルの設定](#), 97 ページ
- [モビリティ設定](#), 99 ページ
- [プラグイン](#), 102 ページ

ユーザ オプション Web ページのログインとログアウト

スピードダイヤルや個人アドレス帳などのユーザオプションを利用できるようにする前に、ログインする必要があります。また、ユーザオプション Web ページの使用が終了したら、ログアウトする必要があります。

ログインしなくても、ユーザオプション Web ページにアクセスできる場合があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション URL、ユーザ ID、デフォルト パスワードをシステム管理者から取得します。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、その URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドに、ユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドに、パスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。
[Cisco Unified CM のユーザ オプション] ホーム ページが表示されます。このページから、[ユーザ オプション] を選択してデバイスを選択し、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプション Web ページからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
-

デバイスの設定

ユーザ オプション Web ページから、電話機のデバイス設定を変更できます。次のデバイス設定は、電話機で変更できます。

- サイレント オプション
- 回線の設定
- スピードダイヤル
- IP Phone サービス

関連トピック

[スピードダイヤル, \(80 ページ\)](#)

ユーザ オプション Web ページからのデバイスの選択

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。

[デバイス設定] ウィンドウが表示されます。[デバイス設定] ウィンドウの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。

- ステップ 2** (任意) 複数のデバイスを割り当てられている場合は、[名前] ドロップダウンメニューから、適切なデバイス (電話機のモデル、エクステンションモビリティプロファイル、またはリモート接続先プロファイル) を選択します。

サイレント オプションのカスタマイズ

手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。電話機の Do Not Disturb (DND; サイレント) 機能はシステム管理者が設定します。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューから [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3** 次のオプションを設定できます。
- サイレント : チェックボックスをオンにしてサイレントを有効にするか、無効にします。
 - サイレント オプション : [なし] または [呼出音オフ] (呼出音のみをオフにする) を選択します。
 - サイレント着信警告 (いずれかのサイレント オプションセットに適用) : アラートを [ビープ音のみ]、[フラッシュのみ]、[無効] に設定するか、[なし] を選択します (システム管理者が設定したアラートの設定を使用するため)。

関連トピック

[サイレント](#), (62 ページ)

回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線の設定には、コール転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージ受信インジケータ、ボイスメッセージインジケータ、呼出音のパターンや、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送の設定
- 呼出音、表示、その他の電話機モデル固有の設定の変更

関連トピック

[コールの転送, \(53 ページ\)](#)

[呼出音, \(31 ページ\)](#)

回線ごとのコール転送の設定

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから、電話機を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから、回線を選択します。
 - ステップ 5 [着信コールの転送] 領域で、各種条件のコール転送の設定を選択します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

回線ごとのボイス メッセージ インジケータ 設定の変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから、電話機を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 4 （任意） 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから、回線を選択します。
 - ステップ 5 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。
通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することによって、新しいボイス メッセージがあることを示します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータ 設定の変更

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
- ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから、回線を選択します。
- ステップ 5 [オーディオメッセージ受信ランプ] 領域で、目的の設定を選択します。
- ステップ 6 [保存] を選択します。

回線ごとの呼出音設定の変更

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
- ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
- ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから、回線を選択します。
- ステップ 5 [呼出音設定] 領域で、ドロップダウンメニューから、[呼出音設定（電話がアイドルのとき）] と [呼出音設定（電話がアクティブのとき）] のオプションを設定します。
オプションは次のとおりです。
 - システム デフォルトの使用
 - 無効
 - フラッシュのみ
 - 一度鳴らす
 - 鳴らす
 - ビープ音のみ（このオプションは [呼出音設定（電話がアクティブのとき）] の場合だけ指定可）
- ステップ 6 [保存] を選択します。

電話機のディスプレイの回線テキスト ラベルの編集

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
 - ステップ3 [回線の設定]を選択します。
 - ステップ4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線]ドロップダウンメニューから、回線を選択します。
 - ステップ5 [回線のテキスト ラベル]領域に、テキスト ラベルを入力します。
 - ステップ6 [保存]を選択します。
-

[ユーザ オプション]でのスピードダイヤルの設定

電話機の設定に応じて、スピードダイヤル ボタンやスピードダイヤル コードを使用できます。これらの設定はユーザ オプション Web ページで行うことができます。

スピードダイヤル ボタンの設定

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
 - ステップ3 [スピードダイヤル]を選択します。
 - ステップ4 [スピードダイヤル設定]領域で、電話機のスピードダイヤル ボタンの番号とラベルを入力します。
 - ステップ5 [保存]を選択します。
-

スピードダイヤルコードの設定

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
- ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
- ステップ3 [スピードダイヤル]を選択します。
- ステップ4 [短縮ダイヤル設定]領域で、スピードダイヤルコードの番号とラベルを入力します。
- ステップ5 [保存]を選択します。





IP Phone サービス

IP Phone サービスには、電話機の特別な機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）などがあります。IP Phone サービスにアクセスする前に、まず IP Phone サービスに登録する必要があります。ユーザ オプション Web ページから、スピードダイヤル ボタンにサービスを割り当てることができます。

電話機で使用できるサービスは、システム管理者が設定した電話システムの設定や登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

設定したサービスが1つだけの場合は、デフォルトでそのサービスが開きます。設定したサービスが複数ある場合は、メニューからサービスを選択します。

次の機能ボタンのいずれかを使用してサービスを選択します。

-  (システム管理者が設定する機能ボタン)
-  メッセージ
-  アプリケーション
-  連絡先

サービスへの登録

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
 - ステップ3 [IP Phone サービス]を選択します。
 - ステップ4 [新規追加]を選択します。
 - ステップ5 ドロップダウンリストからサービスを選択し、[次へ]をクリックします。
 - ステップ6 (任意) サービスのラベルを変更するか、または使用可能な場合は追加のサービス情報を入力します。
 - ステップ7 [保存]を選択します。
-

サービスの検索

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、デバイスを選択します。
 - ステップ2 [IP Phone サービス]を選択します。
 - ステップ3 [検索]を選択します。
-

サービスの変更または解除

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
 - ステップ2 1つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ3 [選択項目の削除]を選択します。
-

サービス名の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
 - ステップ2 サービス名を選択します。
 - ステップ3 情報を変更し、[保存]を選択します。
-

プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
 - ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
 - ステップ3 [サービス URL]を選択します。
電話機のサービス URL ボタンの設定は、システム管理者が行います。
 - ステップ4 [ボタン サービス] ドロップダウンリストから、サービスを選択します。
 - ステップ5 (任意) サービスの名前を変更する場合は、ラベルフィールドを編集します。
電話機が2バイト文字セットをサポートしていない場合は、ASCII ラベルフィールドを使用します。
 - ステップ6 [保存]を選択します。
 - ステップ7 [リセット]を選択して電話機をリセットし、電話機で新しいボタン ラベルを表示します。
-

ユーザ設定

PINとパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえばPINは、電話機でCisco エクステンション モビリティやパーソナルディレクトリにログインするために使用します。ユーザ オプション Web ページやパーソナルコンピュータのCisco WebDialerにログインするには、パスワードを使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ユーザ設定には、ブラウザのパスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

ブラウザのパスワードの変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ2 現在のパスワードを入力します。
 - ステップ3 新しいパスワードを入力します。
 - ステップ4 [パスワードの確認] フィールドに、新しいパスワードをもう一度入力します。
 - ステップ5 [保存] を選択します。
-

PIN の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ2 現在の PIN を入力します。
 - ステップ3 新しい PIN を入力します。
 - ステップ4 [PIN の確認] フィールドに、新しい PIN をもう一度入力します。
 - ステップ5 [保存] を選択します。
-

ユーザ オプションの言語の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ2 [ユーザ ロケール] 領域の [ロケール] ドロップダウン リストから、項目を選択します。
 - ステップ3 [保存] を選択します。
-

電話機のディスプレイの言語の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ2 [ユーザ ロケール] ドロップダウン リストから、項目を選択します。
 - ステップ3 [保存] を選択します。
-

ディレクトリ

社内ディレクトリで同僚のリストを取得するには、[ユーザ オプション]>[ディレクトリ] を選択します。

コンピュータ上でアクセスできるディレクトリ機能は、次のとおりです。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)。電話機からもアクセスできます。
- ファスト ダイヤル。電話機からもアクセスできます。
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer

関連トピック

[パーソナルディレクトリ](#), (37 ページ)

[社内ディレクトリ](#), (35 ページ)

個人アドレス帳の設定

ユーザオプション Web ページから、個人アドレス帳のエントリを追加、削除、または更新できます。

新しい個人アドレス帳エントリの追加

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ2 [新規追加] を選択します。
 - ステップ3 エントリの情報を入力します。
 - ステップ4 [保存] を選択します。
-

個人アドレス帳のエントリの検索

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ2 検索情報を指定し、[検索] を選択します。
-

個人アドレス帳のエントリの編集

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ3 ニックネームを選択します。
 - ステップ4 必要に応じてエントリを編集し、[保存] を選択します。
-

個人アドレス帳のエントリの削除

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ3 1 つまたは複数のエントリを選択します。
 - ステップ4 [選択項目の削除] を選択します。
-

個人アドレス帳のボタンの割り当て

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから、電話機を選択します。
- ステップ3 [サービス URL] を選択します。
サービスの表示の設定は、システム管理者が行います。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ4 [ボタン] ドロップダウンリストから、[個人アドレス帳] サービスを選択します。
- ステップ5 ボタンの電話ラベルを入力します。
- ステップ6 [保存] を選択します。
- ステップ7 [リセット] を選択し、[リスタート] を選択して、電話の設定を更新します。
これで、ボタンを押して個人アドレス帳コードにアクセスできるようになりました。

ファストダイヤルの設定

ユーザ オプション Web ページから、ファストダイヤルエントリを追加、削除、または更新できます。

最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤルエントリを作成できます。新規のファストダイヤルエントリは、ユーザ オプション Web ページに「raw」とラベル表示され、設定可能なテキストラベルは表示されません。

ファストダイヤルの機能ボタンの割り当て

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ2 システム管理者から取得したサービス URL を選択します。
- ステップ3 [ボタン] ドロップダウンリストから、[ファストダイヤル] サービスを選択します。
- ステップ4 ボタンの電話ラベルを入力します。
- ステップ5 [保存] を選択します。
- ステップ6 [リセット] を選択し、[リスタート] を選択して、電話の設定を更新します。

個人アドレス帳のエントリへのファストダイヤルコードの割り当て

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 [新規追加]を選択します。
- ステップ3 [検索オプション]領域を使用して、個人アドレス帳の適切なエントリを検索します。
- ステップ4 [検索結果]領域の電話番号を選択します。
- ステップ5 (任意) ファストダイヤルコードを変更します。
- ステップ6 [保存]を選択します。

個人アドレス帳のエントリを使用しない電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 [新規追加]を選択します。
- ステップ3 (任意) ファストダイヤルコードを変更します。
- ステップ4 電話番号を入力します。
- ステップ5 [保存]を選択します。

ファストダイヤルエントリの検索

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 検索情報を指定し、[検索]を選択します。

ファストダイヤル電話番号の編集

手順

- ステップ1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ2 編集するファストダイヤルエントリを検索します。
- ステップ3 エントリのコンポーネントを選択します。
- ステップ4 電話番号を変更します。
- ステップ5 [保存]を選択します。

ファストダイヤル個人アドレス帳のエントリの削除

手順

- ステップ1 ユーザオプション Web ページでファストダイヤルエントリを検索します。
- ステップ2 1つまたは複数のエントリを選択します。
- ステップ3 [選択項目の削除]を選択します。

モビリティ設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるよう、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。このような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

関連トピック

[モバイルコネクタ](#)、(70 ページ)

新規リモート接続先の追加

手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[モビリティ設定]>[リモート接続先] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加] を選択します。
- ステップ 3** 次の情報を入力します。
- 名前：携帯電話（または他の電話機）の名前を入力します。
 - 接続先番号：携帯電話の番号を入力します。
- ステップ 4** ドロップダウン リストから、リモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が入っています。
- ステップ 5** [携帯電話] チェックボックスをオンにします。デスクの電話機から発信されたコールをリモート接続先で受信できるようになります。
- ステップ 6** [モバイル コネクトの有効化] チェックボックスをオンにします。デスクの電話機と同時にリモート接続先が呼び出されるようになります。
- ステップ 7** [呼び出しスケジュール] 領域で次のいずれかのオプションを選択します。
- 常に：リモート接続先の呼び出しに曜日や時間帯の制限を設けない場合は、このオプションを選択します。
 - 次に指定されたとおり：曜日や時間帯で呼び出しスケジュールを設定する場合は、このオプションを選択し、次の項目から選択します。
 - リモート接続先の呼び出しを許可する曜日のチェックボックスをオンにします。
 - 曜日ごとに [終日] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時間と終了時間を選択します。
 - ドロップダウン リストから、タイムゾーンを選択します。
- [呼び出しスケジュール] のドロップダウン リストには、自分が作成したアクセス リストのみが表示されます。
- ステップ 8** 次のいずれかの呼び出しオプションを選択します。
- [常にこの接続先を呼び出す]
 - [選択した許可アクセス リストに発信者が含まれる場合にのみ、この接続先を呼び出す]

- [選択したブロック アクセス リストに発信者が含まれる場合には、この接続先を呼び出さない]

ステップ 9 [保存] を選択します。

アクセス リストの作成

手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[モビリティ設定]>[アクセス リスト] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加] を選択します。
- ステップ 3** (任意) アクセス リストを識別する名前と、説明を入力します。
- ステップ 4** 指定されたコールをアクセス リストで許可するか、ブロックするかを選択します。
- ステップ 5** [保存] を選択します。
- ステップ 6** [メンバの追加] を選択して、電話番号またはフィルタを追加します。
- ステップ 7** [フィルタ マスク] ドロップダウン リスト ボックスから、オプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。
- ステップ 8** [フィルタ マスク] ドロップダウン リストから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに、電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードが使用できます。
- X (大文字または小文字)**
- 数字 1 桁に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。
- !**
- 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。
- #**
- 完全一致の 1 桁として使用します。
- ステップ 9** アクセス リストにこのメンバーを追加するには、[保存] を選択します。
- ステップ 10** アクセス リストを保存するには、[保存] を選択します。
-

プラグイン

ユーザオプション Web ページのプラグインを使用すると、システム管理者が設定するアプリケーションをダウンロードしてアクセスできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

プラグインへのアクセス

システム管理者がプラグインを設定した場合にのみ、プラグインが表示されます。

手順

ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[プラグイン] を選択します。



第 7 章

よくある質問、トラブルシューティング

この章の内容は、次のとおりです。

- [よくある質問, 103 ページ](#)
- [トラブルシューティングのヒント, 104 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone のクリーニング, 106 ページ](#)

よくある質問

- Q.** ガイドに記載されているアイコンが電話スクリーンに表示されないのはなぜですか。
- A.** 電話スクリーンのアイコンの多くは、Cisco Unified IP Phone 6941 および 6945 のみで表示されます。
- Q.** Cisco Unified IP Phone 6921 ではセカンダリ回線を機能ボタンとして使用できますか。
- A.** はい。2つの電話回線が不要な場合は、システム管理者がセカンダリ回線に機能を設定することができます。
- Q.** 保留ボタンを押してコールを保留にしましたが、もう一度保留ボタンを押してもコールが復帰しません。
- A.** 保留ボタンはコールを保留にするためだけに使用します。コールを再開するには、[復帰] ソフトキーまたは緑色に点滅する回線ボタンを押します。
- Q.** 稼動していた電話が稼動（「復帰」）しなくなったのはなぜですか。
- A.** システム管理者が EnergyWise を使用して電話機を設定している場合は、電話機がスリープ状態（電源オフ）になることがあります。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時間に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管

理者が設定した時間になると復帰します。選択ボタンを押して電話機を復帰させることもできます。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。

- Q.** 電話機で呼出音が4回続けて再生されますが、コールはありません。これは何を意味していますか。
- A.** 節電のために間もなく電話機が電源オフ（スリープ状態）になることを知らせています（EnergyWise機能）。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時間に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者が設定した時間になると復帰します。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- Q.** 電話機に「セキュリティ エラー」というメッセージが表示された場合はどうすればよいですか。
- A.** 電話機のファームウェアによって内部エラーが検出されました。電話機のコードを電源コンセントから外し、1分待ってから再び接続します。メッセージが消えない場合はシステム管理者に問い合わせてください。

トラブルシューティングのヒント

次のトピックに関連するトラブルシューティングのヒントを参照できます。

- 会議
- パーソナル ディレクトリ
- 共有回線
- ユーザ オプション

Conference

会議ボタンとソフトキーが反応しない

会議コールを設定しましたが、[会議] ソフトキーが使用できず、会議ボタンが反応しません。

考えられる原因

会議の参加者が最大数に達しています。

ソリューション

会議の参加者の1人に切断するよう求めるか、参加者を切断します。

ミーティング会議のビジー トーン

ミーティング会議にダイヤルした後でビジー トーンが聞こえます。

考えられる原因

会議のホストがまだ会議に参加していません。

ソリューション

再度発信します。

Personal directory

パーソナル ディレクトリにログインできない

パーソナル ディレクトリにログインできません。

考えられる原因

- 個人識別番号 (PIN) ではなく、パスワードを使用してログインしようとしています。
- PIN をリセットする必要があります。

ソリューション

- パスワードではなく、PIN を使用してください。
- システム管理者にお問い合わせください。

Shared lines

リモートで保留されているコールの発信者 ID が表示されない

Cisco Unified IP Phone 6921 に共有回線があり、リモート回線が保留中に発信者 ID が表示されません。

考えられる原因

これは仕様ごおりの動作です。

ソリューション

ありません。

User options

ユーザ オプション Web ページにアクセスできない

ユーザ オプション Web ページにアクセスできません。

考えられる原因

パスワードをリセットする必要があります。

ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。

Cisco Unified IP Phone のクリーニング

Cisco Unified IP Phone をクリーニングするには、柔らかく乾いた布で電話機および電話スクリーンを優しく拭いてください。液体や粉末を電話機に直接当てないでください。他の非耐候性の電子機器の場合と同様に、液体や粉末は構成部品を損傷し、故障の原因になる可能性があります。

電話機が省電力モードのときは、タッチスクリーンが空白になり、選択ボタンは点灯していません。電話機がこの状態になっているときは、省電力モードになっていることがわかっている限り、きれいになるまで画面をクリーニングすることができます。クリーニング中に電話機が復帰しそうになったら、そのまま復帰させるか復帰するまで待つてから、上記のクリーニング手順を行います。



第 8 章

製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および関連情報

- [安全性とパフォーマンスの情報, 107 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, 108 ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, 108 ページ](#)
- [追加情報, 108 ページ](#)

安全性とパフォーマンスの情報

停電や他のデバイスが、Cisco Unified IP Phone に悪影響を及ぼすことがあります。

停電

電話機で緊急サービスを利用できるかどうかは、電話機に電源が供給されているかどうかによります。電源の供給が停止した場合、電源が回復するまで、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

外部デバイス

シスコでは、不要無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど)、ケーブル、およびコネクタの使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質、および携帯電話や双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合、シスコでは、次のうち 1 つ以上の処置を取ることを推奨しています。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。

- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証することはいたしかねます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、およびヘッドセットのみを使用してください。

シスコ製品のセキュリティ

本製品は、暗号化機能を備えており、輸入、輸出、配布、および使用に適用される米国および他の国での法律の適用対象になっています。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html で参照できます。

アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 6921、6941、および 6961 には、視覚障がい、聴覚障がい、運動障がいを持つユーザのためのアクセシビリティ機能があります。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、『[Accessibility Features for the Cisco Unified IP Phones 6921, 6941, and 6961](#)』を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

追加情報

- シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

- Cisco Unified IP Phone 6921/6941/6945/6961 のクイック リファレンスカード、クイック スタートガイド、エンドユーザガイド：

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10326/products_user_guide_list.html

- ライセンス情報：

http://cisco.com/en/US/products/ps10453/products_licensing_information_listing.html

- 各国のシスコ Web サイト：

www.cisco.com にアクセスし、Web ページの上部にある「Worldwide [change]」のリンクをクリックすると、各国のシスコ Web サイトにアクセスできます。



第 9 章

保証

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 111 ページ

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスには、特別な条件が適用されます。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html



索引

A

AAP。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

B

BLF。参照先：[回線ステータス](#)

C

Cisco Mobile Connect。参照先：[モバイルコネク](#)

Cisco Unified IP Phone 6921 [1, 3, 6](#)

スクリーン [3, 6](#)

説明 [6](#)

場所 [3](#)

接続部 [1](#)

ボタンとハードウェア [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6941 [6, 8, 11](#)

スクリーン [8, 11](#)

説明 [11](#)

場所 [8](#)

接続部 [6](#)

ボタンとハードウェア [8](#)

Cisco Unified IP Phone 6945 [12, 14, 17](#)

スクリーン [14, 17](#)

説明 [17](#)

場所 [14](#)

接続部 [12](#)

ボタンとハードウェア [14](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [18, 19, 22](#)

スクリーン [19, 22](#)

説明 [22](#)

場所 [19](#)

接続部 [18](#)

ボタンとハードウェア [19](#)

CTI。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

E

EM [63, 64](#)

説明 [63](#)

有効化 [64](#)

EnergyWise [25](#)

説明 [25](#)

F

FAQ [103](#)

H

HAC。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

I

iDivert。参照先：[即転送](#)

IP Phone サービス [27, 91, 92, 93](#)

アクセス [27](#)

解除 [92](#)

検索 [92](#)

登録 [92](#)

名前の変更 [93](#)

変更 [92](#)

ボタンへの追加 [93](#)

L

LED。参照先：[ランプ](#)

M

- MAC アドレス [33, 83](#)
 - WebDialer [83](#)
 - 電話の情報 [33](#)
- MCID [68, 69](#)
 - コールのトレース [69](#)
 - 説明 [68](#)

P

- PAB [95, 96](#)
 - 検索 [96](#)
 - 削除 [96](#)
 - 追加 [95](#)
 - 編集 [96](#)
- PIN [37, 94](#)
 - パーソナルディレクトリで使用 [37](#)
 - 変更 [94](#)
- Power Save Plus。参照先：[EnergyWise](#)

Q

- QRT [78](#)
 - 電話の問題のレポート [78](#)
- QRT による問題のレポート [78](#)

T

- TTY。参照先：[アクセシビリティ機能](#)

W

- WebDialer [82, 83, 84](#)
 - Cisco ディレクトリ [82](#)
 - MAC アドレス [83](#)
 - 社内ディレクトリを使用 [82](#)
 - 初期設定 [83](#)
 - 初期設定の表示 [83](#)
 - 初期設定の変更 [83](#)
 - 説明 [82](#)
 - ログアウト [84](#)
 - ログイン [82](#)

あ

- アイコン、回線ステータス [68](#)
- アクセシビリティ機能 [108](#)
- アクセス [27, 102](#)
 - サービス [27](#)
 - プラグイン [102](#)
- アクセスリスト、作成 [101](#)
- アプリケーション [3, 8, 14, 19, 27, 28, 31, 33](#)
 - サービス [27](#)
 - 設定 [31](#)
 - 通話履歴 [28](#)
 - 電話の情報 [33](#)
 - ボタン [3, 8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
- アラート [3, 58, 62, 66, 69](#)
 - オーディオ [58, 62, 66, 69](#)
 - MCID [69](#)
 - コール待機 [58](#)
 - サイレント [62](#)
 - 保留復帰 [66](#)
 - サイレント [69](#)
 - ビジュアル [3, 58, 62, 66, 69](#)
 - MCID [69](#)
 - 回線の状態 [3](#)
 - コール待機 [58](#)
 - サイレント [62](#)
 - 保留復帰 [66](#)
- 安全性とパフォーマンス [107](#)
 - 外部デバイス [107](#)
 - 停電 [107](#)

い

- インターコム [67](#)
 - ウィスパー [67](#)
 - コールの受信 [67](#)
 - 説明 [67](#)
 - 発信 [67](#)

う

- ウィスパー [67](#)

え

エージェント グリーティング [51](#)
 エクステンション モビリティ。参照先: [EM](#)

お

応答 [51](#)
 説明 [51](#)
 オーディオアラート。参照先: [アラート](#)
 オーディオメッセージインジケータ。参照先: [メッセージインジケータ](#)
 折返し [52](#)
 通知の設定 [52](#)
 オン/オフ [63, 70, 76](#)
 サイレント [63](#)
 ミュート [76](#)
 モバイル コネクト [70](#)
 オンフック ダイアル [76, 77](#)
 説明 [76](#)
 電話番号のダイアル [77](#)
 音量 [3, 8, 14, 19](#)
 Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)

か

会議 [3, 8, 14, 19, 60, 61, 62, 69](#)
 回線をまたいで複数のコールを接続 [61](#)
 コール間の切り替え [61](#)
 参加者の削除 [62](#)
 参加者の表示 [62](#)
 説明 [60](#)
 通話相手の追加 [61](#)
 ボタン [3, 8, 14, 19](#)
 Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
 ミートミー [69](#)
 会議からの参加者の削除 [62](#)
 解除 [92](#)
 IP Phone サービス [92](#)

回線 [3, 87, 88, 89, 90](#)
 設定 [87, 88, 89](#)
 サイレント [87](#)
 ボイス メッセージインジケータ [88, 89](#)
 テキストラベル [90](#)
 作成 [90](#)
 変更 [90](#)
 ボタン、Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 回線ステータス [68](#)
 アイコン [68](#)
 説明 [68](#)
 外部デバイス [107](#)
 情報 [107](#)
 注意 [107](#)
 確認。参照先: [アラート](#)
 管理者設定 [34](#)
 関連資料 [108](#)

き

キーパッド [3, 8, 14, 19](#)
 Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
 機能。参照先: [コール機能](#)
 機能ボタンとソフトキーの一覧表 [46](#)
 強制承認コード (FAC) 、説明 [59](#)
 共有回線 [66, 78, 79](#)
 説明 [79](#)
 プライバシーの有効化 [78](#)
 保留 [66](#)
 共有回線の通話履歴:機能の概要 [79](#)
 切り替え [61, 65, 82](#)
 会議コール [61](#)
 コールの切り替え [82](#)
 保留コール [65](#)

<

クライアント識別コード (CMC) 、説明 [59](#)
 グループ ピックアップ [56](#)
 説明 [56](#)

け

言語 [83, 94, 95](#)

WebDialer の設定 [83](#)

電話機のディスプレイの変更 [95](#)

ユーザ オプション Web ページの変更 [94](#)

検索 [35, 92, 96, 98](#)

IP Phone サービス [92](#)

PAB [96](#)

社内ディレクトリ [35](#)

ファストダイヤル [98](#)

こ

コール機能 [45, 51, 52, 53, 54, 56, 58, 59, 60, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82](#)

C 割込 [59](#)

EM [63](#)

MCID [68](#)

QRT [78](#)

WebDialer [82](#)

インターコム [67](#)

エージェント グリーティング [51](#)

応答 [51](#)

折返し [52](#)

オンフックダイヤル [76](#)

会議 [60](#)

回線ステータス [68](#)

共有回線 [79](#)

コード [59](#)

コール待機 [58](#)

コール転送 [53](#)

コールパーク [54](#)

コールピックアップ [56](#)

サイレント [62](#)

自動応答 [52](#)

スピードダイヤル [80](#)

即転送 [62](#)

転送 [81](#)

ハントグループ [66](#)

ファストダイヤル [64](#)

プライバシー [77](#)

プラスダイヤル [77](#)

保留 [65](#)

保留復帰 [66](#)

ミーティング [69](#)

ミュート [76](#)

コール機能 (続き)

モバイルコネクト [70](#)

リダイヤル [78](#)

コール待機 [59](#)

通知への応答 [59](#)

コール待機、説明 [58](#)

コール転送 [53](#)

応答なし [53](#)

圏外 [53](#)

条件付き [53](#)

すべて [53](#)

話し中 [53](#)

無条件 [53](#)

コールの接続。参照先：[転送](#)

コールのリダイレクト [62](#)

コールパーク [54, 55, 68](#)

回線ステータス インジケータ [68](#)

ダイレクトコールパーク [55](#)

手動 [55](#)

パーク [55](#)

復帰 [55](#)

コールピックアップ [56](#)

説明 [56](#)

コールレコード [29, 31](#)

削除 [31](#)

詳細の表示 [29](#)

コールログ。参照先：[コールレコード](#)

個人アドレス帳。参照先：[PAB](#)

個人識別番号。参照先：[PIN](#)

コネクタ。参照先：[接続部](#)

コントラスト [32](#)

さ

サービス。参照先：[IP Phone サービス](#)

サイレント [62, 63, 87](#)

関連項目：[サイレント \(DND\)](#)

オン/オフ [63](#)

カスタマイズ [87](#)

説明 [62](#)

関連項目：[サイレント \(DND\)](#)

サインインとサインアウト。参照先：[ログインとログアウト](#)

削除 [31, 41, 96, 99](#)

PAB エントリ [96](#)

通話履歴レコード [31](#)

削除 (続き)

パーソナル ディレクトリのファスト ダイアル コード **41**

ファスト ダイアル PAB エントリ **99**

作成 **61, 90, 101**

会議コール **61**

電話回線ラベル **90**

モバイル コネクト用のアクセス リスト **101**

し

自動応答 **52**

説明 **52**

自動転送。参照先：[コールの転送](#)

社内ディレクトリ **35, 36**

コール中の連絡先の検索 **36**

コール中の連絡先へのダイアル **36**

ダイアル **35**

連絡先の検索 **35**

手動ダイレクト コール パーク **55**省電力 **25**

説明 **25**

資料、関連 **108**

す

スクリーン **3, 6, 8, 11, 14, 17, 19, 22**

Cisco Unified IP Phone 6921 **3, 6**

説明 **6**

場所 **3**

Cisco Unified IP Phone 6941 **8, 11**

説明 **11**

場所 **8**

Cisco Unified IP Phone 6945 **14, 17**

説明 **17**

場所 **14**

Cisco Unified IP Phone 6961 **19, 22**

説明 **22**

場所 **19**

ステータス **3**

ボタン **3**

スピーカフォン **3, 8, 14, 19**

ボタン **3, 8, 14, 19**

Cisco Unified IP Phone 6921 **3**

Cisco Unified IP Phone 6941 **8**

Cisco Unified IP Phone 6945 **14**

スピーカフォン (続き)

ボタン (続き)

Cisco Unified IP Phone 6961 **19**

スピードダイアル **68, 80, 90, 91**

回線ステータス インジケータ **68**

コード **80, 91**

設定 **91**

説明 **80**

発信 **80**

ボタン **80, 90**

設定 **90**

説明 **80**

発信 **80**

すべてのコールの転送 **54**

設定 **54**

プライマリ回線 **54**

せ

接続部 **1, 6, 12, 18**

Cisco Unified IP Phone 6921 **1**

Cisco Unified IP Phone 6941 **6**

Cisco Unified IP Phone 6945 **12**

Cisco Unified IP Phone 6961 **18**

設定 **31, 32, 83, 90, 91**

WebDialer **83**

WebDialer の初期設定 **83**

コントラスト **32**

スピードダイアル コード **91**

スピードダイアル ボタン **90**

呼出音 **31**

設定、ユーザ オプション **93**

選択ボタン。参照先：[ナビゲーション バー](#)

そ

即転送 **62**

コールのリダイレクト **62**

説明 **62**

ソフトキー **3, 8, 14, 19, 46**

Cisco Unified IP Phone 6921 **3**

Cisco Unified IP Phone 6941 **8**

Cisco Unified IP Phone 6945 **14**

Cisco Unified IP Phone 6961 **19**

機能一覧表 **46**

た

- ダイヤル [29, 35, 41](#)
 - 社内ディレクトリの連絡先 [35](#)
 - 通話履歴 [29](#)
 - パーソナルディレクトリのファストダイヤルコード [41](#)
- ダイヤル、オンフック [76](#)
- ダイレクトコールパーク [55](#)
 - 手動 [55](#)
- 他グループピックアップ [56](#)
 - 説明 [56](#)

ち

- 着信履歴 [28](#)
- 直接転送 [81](#)

つ

- 追加 [93, 95, 100](#)
 - IP Phone サービスをボタンへ [93](#)
 - PAB エントリ [95](#)
 - モバイルコネク用リモート接続先 [100](#)
- 通知 [52, 59, 66](#)
 - 関連項目：[アラート](#)
 - 折返し [52](#)
 - コール待機 [59](#)
 - 保留復帰 [66](#)
 - 関連項目：[アラート](#)
- 通話履歴 [28, 29, 30, 31](#)
 - クリア [30](#)
 - コールレコードの削除 [31](#)
 - ダイヤル [29](#)
 - 番号の編集 [30](#)
 - 表示 [28](#)
 - フィルタ [29](#)
- 通話履歴のクリア [30](#)
- 通話履歴のフィルタ [29](#)

て

- 停電 [107](#)

- ディレクトリ [35, 36, 37, 82, 95](#)
 - 社内 [35, 36, 82](#)
 - WebDialer を使用 [82](#)
 - コール中の連絡先の検索 [36](#)
 - コール中の連絡先へのダイヤル [36](#)
 - 使用方法 [35](#)
 - 連絡先の検索 [35](#)
 - 連絡先へのダイヤル [35](#)
 - パーソナル [37](#)
 - ユーザオプション [95](#)
- デバイスの設定。参照先：[ユーザオプション](#)
- 転送 [3, 8, 14, 19, 81, 82](#)
 - 切り替え [82](#)
 - 説明 [81](#)
 - 直接転送 [81](#)
 - ボタン [3, 8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
- 点滅。参照先：[アラート](#)
- 電話機のディスプレイ [90, 95](#)
 - 回線ラベルの作成 [90](#)
 - 回線ラベルの変更 [90](#)
 - 言語の変更 [95](#)
- 電話機のモデル [34](#)
- 電話の情報、モデル [33](#)
- 電話の問題、QRT によるレポート [78](#)
- 電話の問題のレポート [78](#)

と

- 登録、IP Phone サービスへ [92](#)
- トラブルシューティングのヒント [104](#)
- トレース、不審なコールの [69](#)

な

- ナビゲーションバー [3, 8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)

は

- パーソナルディレクトリ [37](#)
- ハードウェア [3, 8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
- パスワード [105](#)
 - 関連項目：[ブラウザのパスワード](#)
 - ユーザ オプションのトラブルシューティング [105](#)
 - 関連項目：[ブラウザのパスワード](#)
- 発信履歴 [28](#)
- ハント グループ [66](#)
 - 説明 [66](#)
 - ログインとログアウト [66](#)
- ハンドセット [3, 8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - 場所 [3](#)
 - ランプ [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - 場所 [8](#)
 - ランプ [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - 場所 [14](#)
 - ランプ [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
 - 場所 [19](#)
 - ランプ [19](#)
- ハンドセット受け台 [25](#)

ひ

- ビジョ ランプ機能。参照先：[回線ステータス](#)
- ビジュアルアラート。参照先：[アラート](#)
- 表示 [28, 29, 33, 62, 83](#)
 - WebDialer の初期設定 [83](#)
 - 会議参加者 [62](#)
 - コール レコードの詳細 [29](#)
 - 着信履歴 [28](#)
 - 通話履歴 [28](#)
 - 電話の情報 [33](#)
 - 発信履歴 [28](#)
 - 不在履歴 [28](#)
- 品質レポート ツール。参照先：[QRT](#)

ふ

- ファストダイヤル [41, 64, 97, 98, 99](#)
 - PAB エントリの削除 [99](#)
 - 機能ボタンへの割り当て [97](#)
 - 検索 [98](#)
 - コードの割り当て [98](#)
 - 説明 [64](#)
 - 発信 [64](#)
 - ファストダイヤルの使用 [64](#)
 - ファストダイヤル コードを使用したコールの発信 [41](#)
 - 編集 [99](#)
- ファストダイヤル コード [40, 41](#)
 - パーソナルディレクトリからの削除 [41](#)
 - パーソナルディレクトリへの割り当て [40](#)
- 不在履歴 [28](#)
- 不審なコール、トレース [69](#)
- 復帰、コール [55, 66](#)
 - パーク [55](#)
 - 保留 [66](#)
- フットスタンド [23](#)
- プライバシー [77, 78](#)
 - 共有回線での有効化 [78](#)
 - 説明 [77](#)
- ブラウザのパスワード [94](#)
 - 変更 [94](#)
- プラグイン [102](#)
- プラスダイヤル [77](#)
- プログラマブル機能ボタン [8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)

へ

- ヘッダー。参照先：[スクリーン](#)
- ヘッドセット [3, 8, 14, 19](#)
 - ボタン [3, 8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
- 変更 [32, 90, 92, 93, 94, 95](#)
 - IP Phone サービス [92](#)
 - IP Phone サービス名 [93](#)
 - PIN [94](#)
 - 言語 [94, 95](#)
 - 電話機のディスプレイ [95](#)

変更 (続き)

言語 (続き)

ユーザ オプション Web ページ [94](#)

コントラスト [32](#)

電話回線ラベル [90](#)

ブラウザのパスワード [94](#)

呼出音 [32](#)

ロケール [94, 95](#)

電話機のディスプレイ [95](#)

ユーザ オプション Web ページ [94](#)

編集 [30, 96, 99](#)

PAB エントリ [96](#)

通話履歴の電話番号 [30](#)

ファストダイヤル [99](#)

ほ

ボイスメール。参照先: [メッセージ](#)

ボイスメールへ。参照先: [即転送](#)

ボイスメッセージの聞き取り [44](#)

保証 [111](#)

ボタン [3, 8, 14, 19, 46](#)

Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)

アプリケーション [3](#)

音量 [3](#)

会議 [3](#)

回線 [3](#)

スピーカフォン [3](#)

ソフトキー [3](#)

転送 [3](#)

ナビゲーションバー [3](#)

ヘッドセット [3](#)

保留 [3](#)

ミュート [3](#)

メッセージ [3](#)

連絡先 [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)

アプリケーション [8](#)

音量 [8](#)

会議 [8](#)

スピーカフォン [8](#)

選択 [8](#)

ソフトキー [8](#)

転送 [8](#)

ナビゲーションバー [8](#)

プログラマブル機能 [8](#)

ヘッドセット [8](#)

ボタン (続き)

Cisco Unified IP Phone 6941 (続き)

保留 [8](#)

ミュート [8](#)

メッセージ [8](#)

連絡先 [8](#)

Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)

アプリケーション [14](#)

音量 [14](#)

会議 [14](#)

スピーカフォン [14](#)

選択 [14](#)

ソフトキー [14](#)

転送 [14](#)

ナビゲーションバー [14](#)

プログラマブル機能 [14](#)

ヘッドセット [14](#)

保留 [14](#)

ミュート [14](#)

メッセージ [14](#)

連絡先 [14](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)

アプリケーション [19](#)

音量 [19](#)

会議 [19](#)

スピーカフォン [19](#)

選択 [19](#)

ソフトキー [19](#)

転送 [19](#)

ナビゲーションバー [19](#)

プログラマブル機能 [19](#)

ヘッドセット [19](#)

保留 [19](#)

ミュート [19](#)

メッセージ [19](#)

連絡先 [19](#)

機能一覧表 [46](#)

保留 [3, 8, 14, 19, 65, 66](#)

新しいコール [65](#)

共有回線 [66](#)

コール間の切り替え [65](#)

説明 [65](#)

復帰 [65](#)

ボタン [3, 8, 14, 19](#)

Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)

Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)

Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)

Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)

保留復帰 [66, 67](#)
 説明 [66](#)
 通知 [66](#)
 通知への応答 [67](#)

み

ミーティング [69](#)
 会議 [69](#)
 参加 [69](#)
 説明 [69](#)
 ミュート [3, 8, 14, 19, 76](#)
 オン/オフ [76](#)
 説明 [76](#)
 ボタン [3, 8, 14, 19](#)
 Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)

め

迷惑呼の発信者 ID。参照先：[MCID](#)
 メッセージ [3, 8, 14, 19, 44](#)
 聞き取り [44](#)
 ボタン [3, 8, 14, 19](#)
 Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)
 メッセージインジケータ [88, 89](#)
 オーディオ、変更 [89](#)
 ボイス、変更 [88](#)
 メニュー [8, 14](#)
 アプリケーション [8, 14](#)
 ディレクトリ [8, 14](#)

も

モデル [34](#)
 モデル情報 [33](#)
 モバイルコネクト [70, 71, 100, 101](#)
 アクセスリストの作成 [101](#)
 オン/オフ [70](#)
 切り替え [71](#)
 携帯電話からデスクへ [71](#)

モバイルコネクト (続き)
 切り替え (続き)
 デスクから携帯電話へ [71](#)
 説明 [70](#)
 リモート接続先の追加 [100](#)

ゆ

有効化 [64, 78](#)
 EM [64](#)
 プライバシー [78](#)
 ユーザオプション [85, 87, 90, 91, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100, 101, 102](#)
 PAB [95, 96](#)
 エントリの編集 [96](#)
 エントリの検索 [96](#)
 エントリの削除 [96](#)
 エントリの追加 [95](#)
 ディレクトリ [95](#)
 デバイス [87, 90, 91](#)
 IP Phone サービス [91](#)
 回線の設定 [87](#)
 スピードダイヤル [90](#)
 ファストダイヤル [97, 98, 99](#)
 PAB エントリの削除 [99](#)
 機能ボタンへの割り当て [97](#)
 検索 [98](#)
 コードの割り当て [98](#)
 編集 [99](#)
 プラグイン [102](#)
 モビリティ [99, 100, 101](#)
 アクセスリストの作成 [101](#)
 リモート接続先の追加 [100](#)
 ユーザ設定 [93, 94, 95](#)
 PIN の変更 [94](#)
 電話機のディスプレイの言語の変更 [95](#)
 ブラウザのパスワードの変更 [94](#)
 ユーザオプション Web ページの言語の変更 [94](#)
 ログインとログアウト [85](#)
 ユーザ設定。参照先：[ユーザオプション](#)

よ

よくある質問。参照先：[FAQ](#)
 呼出音 [31](#)

ら

- ランプ [3](#)
 - 赤色 [3](#)
 - 点灯 [3](#)
 - 点滅 [3](#)
 - オレンジ色、点滅 [3](#)
 - ハンドセット [3](#)
 - 緑色 [3](#)
 - 点灯 [3](#)
 - 点滅 [3](#)

り

- リダイヤル [78, 79](#)
 - 説明 [78](#)
 - 番号 [79](#)
- リモート接続先。参照先：[ユーザ オプション](#)

れ

- 連絡先 [3, 8, 14, 19, 35, 36, 37](#)
 - 社内ディレクトリ [35, 36](#)
 - コール中の連絡先の検索 [36](#)
 - コール中の連絡先へのダイヤル [36](#)
 - 連絡先の検索 [35](#)
 - 連絡先へのダイヤル [35](#)

連絡先 (続き)

- パーソナル ディレクトリ [37](#)
- ボタン [3, 8, 14, 19](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6921 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6941 [8](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6945 [14](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6961 [19](#)

ろ

- ログ。参照先：[通話履歴](#)
- ログインとログアウト [66, 82, 84, 85](#)
 - WebDialer [82, 84](#)
 - ハントグループ [66](#)
 - ユーザ オプション [85](#)
- ロケール [94, 95](#)
 - 電話機のディスプレイの変更 [95](#)
 - ユーザ オプション Web ページの変更 [94](#)

わ

- 割り当て [40, 97, 98](#)
 - パーソナル ディレクトリのファストダイヤル コード [40](#)
 - ファストダイヤル コード [98](#)
 - ファストダイヤル ボタン [97](#)